

第6期美唄市総合計画

びばい未来交響プラン

施策評価表

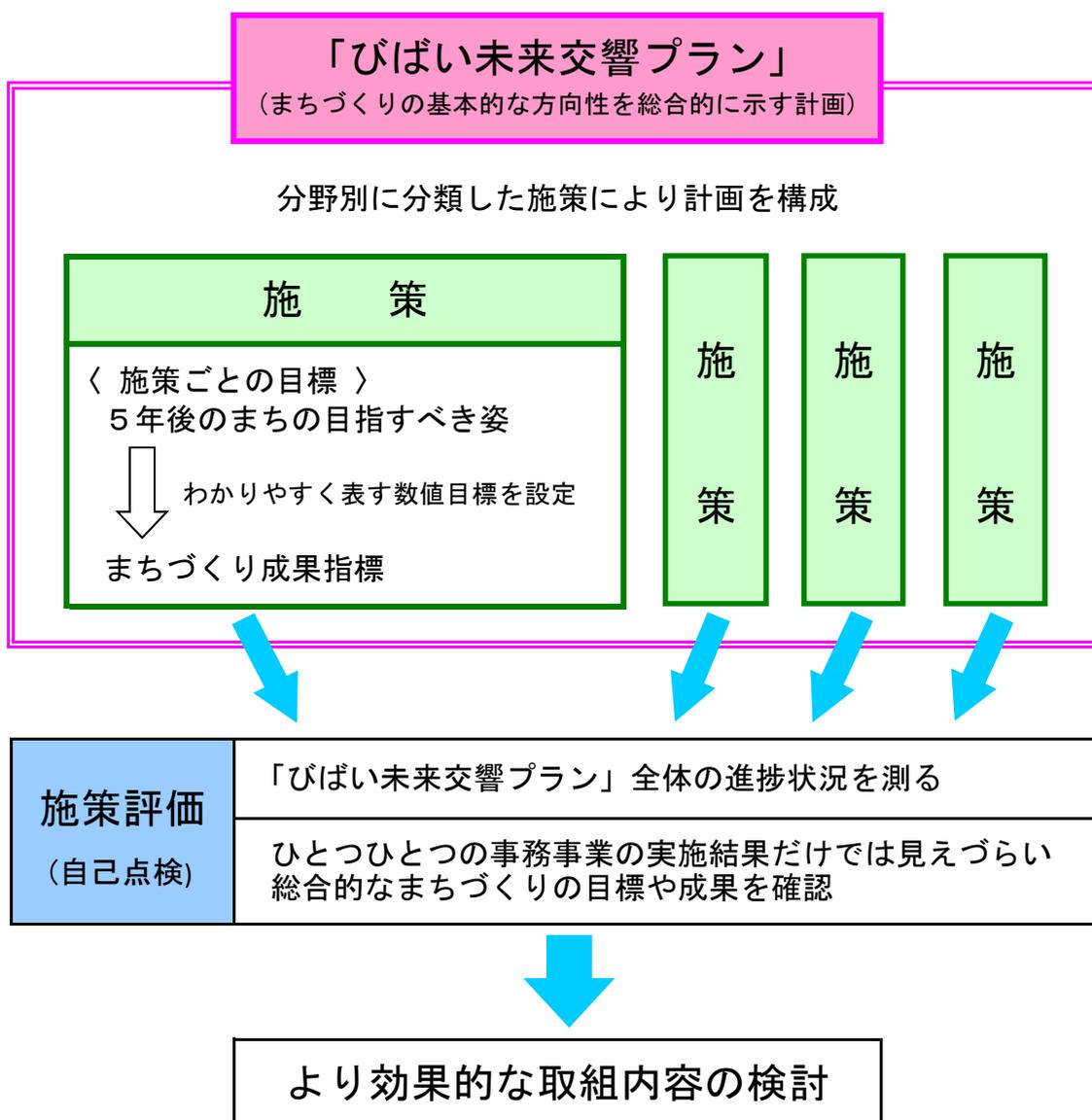
(進捗状況 平成23年度～平成25年度)

平成26年9月

びばい未来交響プラン施策評価

市の総合計画である「びばい未来交響プラン」前期基本計画（H23～H27年度）では、まちづくりの基本的な方向性を分野別に分類し計画を構成しており、この分類の単位を『施策』として位置付けています。それぞれの施策には、目標として5年後のまちの目指すべき姿を明示するとともに、目指すべき姿をわかりやすく表すための数値目標として「まちづくり成果指標」を設定しています。

施策評価は、「びばい未来交響プラン」を構成する各施策の目標、方向性、成果などを自己点検することで、①「びばい未来交響プラン」全体の進捗状況を測る ②ひとつひとつの事務事業の実施結果だけでは見えづらい総合的なまちづくりの目標や成果を確認する ③進捗状況を踏まえ、より効果的な取組内容を検討する ための手段となります。



びばい未来交響プラン施策評価表の構成

評価対象期間 平成 年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	
施策の柱〔 〕	
施 策()	

【 主管課及び関係課 】

主管課：
関係課：

【 施策の目指すべき姿 】

美唄市総合計画「びばい未来交響プラン」前期基本計画(H23年度～H27年度)において、目標として施策ごとに設けた5年後(H27年度)のまちの目指すべき姿を記載しています。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

「施策の目指すべき姿」に到達するためには、どのようなことをしなければならないかという方向性を記載しています。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H○	H△	H◇	
成果指標		施策の目指すべき姿を数値目標で表しています。						
関連指標		施策の方向性を数値目標で表しています。						

【 施策の達成（進捗）状況 】

目標（「施策の目指すべき姿」や「施策の方向性」など）に対する現在の達成（進捗）状況を記載しています。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (対象年度決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
施策を構成する事務事業の一覧です。					

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果指標		まちづくり成果指標と関連指標の取得方法を記載しています。		
関連指標				

目 次

1	人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり	
	〔1〕産業づくり	
	(1) 農商工連携	1ページ
	(2) 農業振興	3ページ
	(3) 商工業振興	7ページ
	〔2〕にぎわいづくり	
	(4) 観光・交流	9ページ
	(5) 公共交通	11ページ
	(6) 情報化推進	13ページ
2	人と文化を育み交流が広がるまちづくり	
	〔3〕人づくり	
	(7) 子育て支援	15ページ
	(8) 学校教育	19ページ
	(9) 芸術・文化・生涯学習	23ページ
	(10) 男女共同参画	27ページ
	(11) 平和施策	29ページ
3	豊かな景観あるれるエコロジーなまちづくり	
	〔4〕環境づくり	
	(12) 自然保護	31ページ
	(13) 環境行動	33ページ
	(14) ごみ処理	35ページ
	〔5〕うるおいづくり	
	(15) 都市基盤整備	37ページ
	(16) 景観・緑づくり	41ページ
4	誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	
	〔6〕健康づくり	
	(17) 保健	43ページ
	(18) 地域医療	45ページ
	〔7〕福祉のまちづくり	
	(19) 障がい者福祉	47ページ
	(20) 高齢者福祉	49ページ

5 安全で安心して住めるまちづくり

〔8〕安全づくり

(21) 防災・防犯・交通安全 53ページ

(22) 消防 55ページ

〔9〕安心づくり

(23) 消費者保護 57ページ

(24) 雇用対策 59ページ

(25) コミュニティ 61ページ

6 みんなで力を合わせるまちづくり

〔10〕地域経営の確立

(26) 協働のまちづくり 63ページ

びばい未来交響プラン「まちづくり成果指標」一覧（再掲） . . . 65ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[1] 産業づくり
施策	(1) 農商工連携

【 主管課及び関係課 】

主管課：産業振興課

関係課：商工観光課・農政課

【 施策の目指すべき姿 】

◎地元農産物を活用した特産品が生まれる

農業や商業、工業を営む人が活発に交流し、地元農産物などを活用した新しい商品やサービスが生まれ、その特徴や魅力を情報発信することで、需要拡大と消費の定着につながっていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 産業間連携のしくみづくり

新商品開発や新たなサービスの提供など、本市の「食」と「農」の魅力を活かしながら、農業者と商工業者がお互いに交流する機会を設けるほか、試験研究機関等とも連携して、美唄の「食」を活かした商品の開発などを支援する。

2 PR活動と販路開拓情報発信の強化

農商工が連携して市外のイベントに積極的に出品し、商品のPRや販売促進を図るとともに、市内では食のフリーマーケットの開催や農産物直売所、市ホームページ、ポータルサイトPiPaの活用などにより、商品やサービスに関する情報発信を強化するとともに、販路開拓のための営業活動をコーディネートするなど、開発商品の定着を支援する。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したものの

区分	整理No	指標	指標の説明	実績値				達成度 (進捗度)
				目標値 H27	H23	H24	H25	
成果指標	1	新たに商品化された特産品数	農商工連携の取組の成果を、新たに商品化され1年以上継続販売されている特産品数で見える指標	3商品 H23～27の累積	初年度のためなし	1商品	4商品	133.3%
関連指標	1	農業資源活用の情報交換会年間開催回数	異分野事業者間の交流機会の頻度を見る指標	1回	0回	0回	1回	100.0%
	2	市内外イベント年間出品回数	市内外の消費者に対する地元農産物加工品等の販売・PR活動の状況を見る指標	5回	3回	3回	11回	220.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

本市の現状と課題については、農商工連携による新たな商品開発の動きは活発化してきているものの、継続した生産・販売が可能な商品化にはつながっていないことから、今後は商品開発に係るストーリーやコンセプトの明確化、大学・試験研究機関や専門家等との連携強化のほか、商品PRや販路開拓面について強化する取組が必要であるものとする。

これまでの取組と成果については、農商工連携を推進するため「農商工連携推進助成制度」を創設し、初年度となる平成23年度には、米粉・大豆などの美唄産農産物を活用した加工品の商品化を目指す3団体が商品開発を進め、1品商品化、平成24年度には地元野菜を原料とした乾燥野菜など2品、平成25年度には麴や米粉製品など7品が商品化され、平成26年度にもアスパラを飼料とした羊肉製品の開発など2件の継続事業を展開しており、事業全体の成果が出始めている。

今後は、国・道や支援機関などの助成メニュー活用の橋渡しをするほか、地域経済円卓会議や異業種間の交流機会を通じ、商工会議所や農協などの関係機関との連携体制を強化するとともに、個別のニーズに対応し、試験研究機関や大学との連携や専門家等との橋渡しを促すなど、フォローアップ活動を強化する。

PR等の活動については、アンテナショップや食にこだわったまちづくり市民試食会などの各種イベントを情報発信の場として活用するほか、道内・道外イベントや商談会などへの積極的な参加や、道産品販売店・ホテル・レストラン・惣菜店などへの橋渡しなど、販路確保も着実に進めることとする。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	食にこだわったまちづくり推進事業	商工観光課	343	見直し	方法の工夫・改善
2	農商工連携推進助成事業	産業振興課	1,692	現状維持	現行の内容が最適
3	地域力広域連携チャレンジ事業	商工観光課	2,000	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	1	新たに商品化された特産品数	業務取得	美唄産農産物を活用して商品化され1年以上継続販売されている特産品の数(H23~27の累積)
関連指標	1	農業資源活用の情報交換会年間開催回数	業務取得	農業資源活用の情報交換会の年間開催回数
	2	市内外イベント年間出品回数	業務取得	地元農産物加工品等の市内外イベント年間出品回数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[1] 産業づくり
施策	(2) 農業振興

【 主管課及び関係課 】

主管課：農政課

関係課：農地整備課・農業委員会

【 施策の目指すべき姿 】

◎消費者から信頼される産地になる

地域農業を支える多様な担い手により、安定した農業経営が実現し、環境に配慮した、安全・安心で良質な農産物の生産により、消費者から信頼される産地になる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 農業経営の安定化

米、麦などの基幹作物を振興しながら、野菜や花きなどを取り入れた経営の複合化や、農地の利用集積、生産基盤の整備などを促進し、農業経営の体質強化や安定化を図る。また、新規就農者をはじめ、地域農業を支える多様な担い手の育成・確保を進めるほか、地域や農業者が加工や産直販売など、創意と工夫により主体的に取り組むことができる農業・農村づくりを進める。

2 消費者に信頼される産地づくり

環境に配慮した安全・安心で良質な農産物づくりを続けるとともに、地産地消や都市と農村との交流、農業体験や「食育」などを通じた消費者と生産者の結びつきを強める取組、農地が持つ多面的機能に対する理解の促進など、農業への関心と理解を深めながら、消費者に信頼される産地づくりに取り組む。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	2	農業総販売額	農業振興の成果を農産物の総販売額から見る指標	65億円	(H22) 45億円	(H23) 53億円	(H24) 56億円	86.2%
関連指標	3	認定農業者数	農業の担い手確保の状況を認定農業者数から見る指標	➡ H20を維持 529経営体	495 経営体	492 経営体	480 経営体	△ 49 経営体
	4	ほ場整備済面積	農業生産性の向上の程度をほ場の整備済面積から見る指標	4,486ha	2,806ha	2,898ha	3,005ha	67.0%
	5	イエス・クリーン表示制度登録集団数	消費者に信頼される産地づくりの状況をクリーン農産物生産を行う集団数から見る指標	➡ H20より増やす 9集団	11集団	13集団	13集団	+4集団

【 施策の達成（進捗）状況 】

本市農業は、担い手の高齢化や後継者不足が進んでおり、持続可能な農業を確立していくためには、新規就農者や農業生産法人の参入、認定農業者の育成など、地域の農業を支える意欲的な担い手を確保するとともに、農地の利用集積や生産基盤の整備を推進していくことが必要である。

「農業経営の体質強化と安定化の推進」に向けて、各農協地区ごとの地域農業再生協議会と連携し経営所得安定対策の取組を推進したほか、農協管内ごとに策定した「人・農地プラン」の見直し作業を行うとともに、このプランに位置付けられた中心経営体を取り組む法人化や6次産業化などの取組に必要な農業用機械等の整備を支援したほか、新規就農者へ就農給付金を交付し、経営の早期安定化の支援を行った。

「消費者に信頼される産地づくりの推進」に向けて、農協が行う穀類倉庫などの整備を支援するとともに、生産者が取り組む環境保全型農業の取組を国や道とともに支援したほか、北のクリーン農産物表示制度に基づく取組持続性の高い農業生産方式(エコファーマー制度)に基づく取組の推進を図った。

また、美唄の安全・安心な農産物等をPRするため、ホームページに食育コーナー「おいしいレシピ」を開設し、地場農産物の食材利用を促進するなど、食育や地産地消の取組を進めた。

農地の整備については、峰岩地区、沼の内地区、中美唄地区、大富第1地区、大富第2地区で道営換地事業を実施したほか、事業実施に伴う農業者の負担軽減を図るため、食料供給基盤強化特別対策事業を実施するとともに、ほ場の補修や維持管理のための機械を機械利用組合に対し貸与した。

また、国営美唄茶志内地区・美唄地区の国営換地事業を実施した。

このほか、内水排水機場や農業用排水路、農道などの土地改良財産の適切な維持管理に努めた。

今後も、多様な担い手による安定した農業経営の確立を図るため、基盤整備や優良農地、自然環境などの地域資源を保全する取組を促進し、消費者から信頼される産地形成を推進していく。

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
					事務事業の今後の方向性
5	水稻生産振興事業	農政課	26,921	現状維持	現行の内容が最適
6	畑作生産振興事業	農政課	5,554	見直し	方法の工夫・改善
7	農業振興事業	農政課	1,468	見直し	方法の工夫・改善
8	農業経営改善推進事業	農政課	192	現状維持	法令等の定めあり
10	農業経営資金利子助成事業	農政課	9,638	現状維持	法令等の定めあり
11	中山間地域等直接支払事業	農政課	2,433	現状維持	法令等の定めあり
13	農業一般管理事務	農政課	736	現状維持	現行の内容が最適
14	小麦食害対策事業	農政課	950	見直し	方法の工夫・改善
15	鳥獣捕獲等事業	農政課	2,970	見直し	方法の工夫・改善
16	畜産一般振興事務	農政課	170	現状維持	法令等の定めあり
18	経営体育成交付金事業	農政課	60,178	現状維持	法令等の定めあり
20	排水機場管理運営事業	農政課	19,211	現状維持	現行の内容が最適
22	農業排水管理等事業	農政課	5,091	現状維持	現行の内容が最適
23	公団営土地改良事業	農政課	91,781	現状維持	債務負担行為
24	農業用明渠排水及び支派線維持管理事業	農政課	16,590	見直し	拡充
25	農業用排水路整備事業	農政課	1,202	見直し	拡充
26	農道維持管理事業	農政課	2,863	見直し	拡充
28	農道離着陸場管理運営事業	農政課	580	見直し	方法の工夫・改善
29	国営農業用水再編対策事業	農政課	22,492	現状維持	債務負担行為
31	国営造成施設管理体制整備促進事業	農政課	39,096	現状維持	現行の内容が最適
33	ほ場整備事業	農地整備課	145	現状維持	現行の内容が最適
34	ほ場整備事業(債務負担分)	農地整備課	836	終了	事業完了
36	21世紀高生産基盤整備促進対策事業	農地整備課	5,066	現状維持	債務負担行為
37	食料・環境基盤緊急確立対策事業	農地整備課	194	現状維持	債務負担行為
38	持続的農業・農村づくり促進特別対策事業(債務負担分)	農地整備課	686	現状維持	債務負担行為
39	道営換地計画受託事業	農地整備課	11,303	現状維持	現行の内容が最適
40	国営換地計画従前地調査等受託事業	農地整備課	593	終了	事業完了
41	国営換地計画受託事業	農地整備課	21,284	現状維持	現行の内容が最適
42	土地改良センター運営事務	農地整備課	482	現状維持	現行の内容が最適
43	耕地利用高度化推進事業	農地整備課	13,315	現状維持	現行の内容が最適
44	利用権設定等促進事業	農業委員会	1,065	現状維持	法令等の定めあり
45	農業委員会事務	農業委員会	15,301	現状維持	法令等の定めあり

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
46	農業者年金基金受託事務	農業委員会	1,404	現状維持	法令等の定めあり
485	経営所得安定対策事業	農政課	9,137	現状維持	法令等の定めあり
486	農地・水保全管理支払交付事業	農政課	56,114	見直し	拡 充
487	環境保全型農業直接支援対策事業	農政課	9,156	現状維持	法令等の定めあり
488	排水機場整備事業	農政課	5,728	現状維持	現行の内容が最適
489	食料供給基盤強化特別対策事業	農地整備課	58,736	現状維持	現行の内容が最適
519	道営換地計画従前地調査等事業	農地整備課	3,218	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果指標	2	農業総販売額	業務取得	農作物ごとの10 a 当たり生産者販売額(国の交付金の一部を加算)に作付面積を乗じて算出した額 ※「北海道農林水産統計年報(総合編)」の数値を一部引用して算出しています。本数値の算出に必要な全ての統計数値の発表は、生産年の2年後となります。
関連指標	3	認定農業者数	業務取得	認定農業者数
	4	ほ場整備済面積	業務取得	基盤整備済のほ場(水田)面積の累積
	5	イエス・クリーン表示制度登録集団数	業務取得	北海道が実施するイエス・クリーン農業表示制度に登録している集団数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[1] 産業づくり
施策	(3) 商工業振興

【 主管課及び関係課 】

主管課：商工観光課

関係課：産業振興課

【 施策の目指すべき姿 】

◎買い物をする人が増え、企業活動が活発に行われる
市民が楽しく買い物ができる賑わいのあるまちになる。
また、新製品や新技術が生まれるなど、企業活動が活発に行われ、環境にやさしい雪冷熱エネルギーの活用が広がる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

- 魅力ある商業環境づくり
中心市街地での賑わい創出を図るため、個性ある商店街づくりやサービス向上の取組を促進し、まちなか交流広場の活用など、市民が楽しく買い物ができる、魅力ある商業環境づくりを進める。
- 企業活動の活性化
企業の誘致活動をはじめ、「ビジネス交流会」など企業同士の情報交換・交流活動を活発に行い、企業活動による新製品、新技術の開発などを支援するとともに、起業を希望する人への支援、企業間・異業種間の交流・連携が積極的に行える環境整備の推進、さらには、新たな産業おこしと環境問題に貢献する雪冷熱エネルギーの活用による産業振興を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	3	工業出荷額	工業振興の成果を工業出荷額の総額で見る指標	192.0億円	(H22) 158.1億円	(H23) 155.4億円	(H24) 157.1億円	81.8%
関連指標	6	企業数	企業活動の活性化の状況を市内の製造業企業数から見る指標	 H20より増やす 60社	(H22) 52社	(H23) 49社	(H24) 48社	△ 12社
	7	起業件数	新産業、ベンチャービジネス支援の成果を見る指標	6件 H23～27の累積	0件	0件	1件	16.7%
	8	立地企業数	企業立地活動の成果を見る指標	3社 H23～27の累積	0社	0社	0社	0.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

『商業』人口の減少に伴う消費購買力の減少やインターネット販売の利用拡大、郊外型店舗の進出などにより、商店街の売上げは大幅に減少しており、商業を取り巻く環境は年々厳しい状況となっている。

厳しい経営環境の中で商業環境の充実を図るために、商業者自身が中心市街地に消費者を呼び込むための新たな商業活動・PR活動などに積極的に取り組んでおり、市としては、これら商業者が実施する中心市街地の空き店舗等を活用した「賑わい創出事業」に対し積極的に支援を行い、まちなかの交流を促進するとともに、商業の活性化を推進してきた。

『工業』冷涼で震災リスクが低い北海道はデータセンターの好適地であり、また、空知団地の広大な敷地は、雪冷熱エネルギーの活用や自家発電施設の併設など、大きな可能性と魅力があることから企業の評価は高いものとする。

市としては、「ホワイトデータセンター構想」の実現を目指し、IT関連企業2社と包括連携協定の締結を行うとともに、当該企業との協働により、データセンターの事業化に向けた事業計画等の策定やセミナー及び実証試験施設見学会を実施したほか、企業誘致の継続を目的として空知団地を購入するなど企業誘致に向けて取り組んだ。

さらに今後においても首都圏や関西圏などに企業訪問や出展会を通じて構想のPRを強化し、ホームページや新たな情報媒体を最大限に活用した企業誘致活動を展開する。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
47	新産業振興事業	産業振興課	609	見直し	方法の工夫・改善
48	美唄市大規模冷温食糧備蓄基地構想推進協議会補助事業	産業振興課	500	現状維持	現行の内容が最適
51	企業立地活動事業	産業振興課	4,839	現状維持	現行の内容が最適
52	企業立地等振興対策補助事業	商工観光課	37,323	現状維持	現行の内容が最適
53	中小企業人材養成補助事業	商工観光課	665	現状維持	現行の内容が最適
54	中小企業等振興資金貸付事業	商工観光課	352,871	見直し	方法の工夫・改善
55	中小企業等資金保証料補給事業	商工観光課	96	終了	事業完了
56	中小企業指導対策事務	商工観光課	9,242	現状維持	現行の内容が最適
57	賑わい創出補助事業	商工観光課	1,500	見直し	方法の工夫・改善
58	商工振興対策事務	商工観光課	189	見直し	方法の工夫・改善
61	まちなか交流広場管理運営事業	商工観光課	283	見直し	方法の工夫・改善
63	美唄ハイテクセンター貸付事業	三セク担当	171,500	見直し	方法の工夫・改善
527	商店街活性化支援事業	商工観光課	218	見直し	拡充

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	3	工業出荷額	工業統計調査	工業統計調査の市内工業製品出荷額総額 ※工業統計調査の集計結果は調査対象年の2年後に公表となる
関連指標	6	企業数	工業統計調査	工業統計調査の市内製造業事業所数 ※工業統計調査の集計結果は調査対象年の2年後に公表となる
	7	起業件数	業務取得	H23～H27の起業件数の累積
	8	立地企業数	業務取得	H23～H27の立地企業数の累積

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[2]にぎわいづくり
施策	(4) 観光・交流

【 主管課及び関係課 】

主管課：商工観光課

関係課：企画課

【 施策の目指すべき姿 】

◎交流人口が増える

交流拠点施設を核として、アルテピアッツァ美唄や宮島沼などの様々な地域資源を有効につなげることで、まちの魅力が増し、たくさんの人が美唄を訪れる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 情報発信とPR活動の充実

交流拡大を図るため、市のホームページやポータルサイトPiPaに掲載する地域資源の情報を充実させ、広く内外に美唄の魅力をアピールするとともに、農産物や特産品の販路拡大、地域観光情報の発信などを目的として開設したアンテナショップの成果を踏まえて、積極的なPRや販売活動を民間との協働により進める。

2 交流拡大のしくみづくり

交流拠点施設やアルテピアッツァ美唄、宮島沼などを入り口として、市外からの来訪者が市内全体を回遊し、体験型観光や滞在型観光を楽しむことができるよう、自然や歴史に加え、文化・芸術などの「アート」や「食」「農」の魅力を活用するとともに、観光ボランティアガイドの養成を行い、交流の拡大を図る。また、広域連携による観光・交流の活性化を進める。交流拠点施設周辺のスポーツ施設については、利用者の拡大を図るため、美唄市パークゴルフ場のホール数を増やすとともに、交流拠点施設との連携を図りながら、積極的に利用者向けのPRを行うなど、利用率を高める。

3 移住・定住の推進

多様な媒体を活用した情報発信やライフスタイルの提案を行い、短期滞在や季節移住の訪問者数を拡大させるとともに、移住のために土地等を取得する際の助成を行うことにより、本格移住につなげる。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	4	観光入込客数	観光振興・交流推進の成果を観光入込客数で見える指標	40万人	32万人	32万人	31万人	77.5%
関連指標	9	観光PR活動年間実施回数	観光情報の発信の状況を市外で実施したPR活動の実施回数で見える指標	5回	8回	13回	16回	320.0%
	10	観光情報ホームページ年間アクセス件数	観光情報の利用状況を市のホームページの観光情報のページへの年間アクセス件数で見える指標	20,000件	21,015件	21,406件	23,820件	119.1%
	11	美唄市に移住した人数	移住・定住推進の取組の成果を移住・定住情報を利用して実際に美唄に移住した人数で見える指標	10人 H23~27の累積	0人	11人	7人	180.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

観光振興については、道内外での各種イベントや物産展等において特産品や観光のPRの実施、近隣自治体との連携による地域資源の魅力をPRする広域観光に取り組んだほか、台湾からのサイクリングツアー客の誘致や本市の観光PR用DVDを作成し、道外や国外からの観光客を視野に入れた観光振興に努めたが、北海道の調査に基づく観光入込客数は31万人と、前々年度・前年度と比較して微減となっている。

観光・交流の形態が多様化する中、今後交流人口の増加を図るには、さらなる観光交流関連情報の発信、特産品等のPR、販路拡大などが必要であり、地域資源を活用した観光ルートの開発やSNSを活用した情報発信、道内外での物産展参加など積極的な取組に努めていく。

移住定住については、住宅の新築や中古住宅を購入した転入者への助成、短期滞在「ちょっと暮らし」を継続するとともに、首都圏や関西圏でのPRの実施、SNSを活用した情報発信、観光PR事業とのタイアップによるプロモーション活動などを進め、本市の認知度、ブランド力を高める取組に努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
66	美唄観光物産協会補助事業	商工観光課	7,500	現状維持	現行の内容が最適
67	観光振興事業	商工観光課	2,571	見直し	拡充
69	美唄国設スキー場管理運営事業	商工観光課	6,460	現状維持	現行の内容が最適
70	美唄国設スキー場整備事業	商工観光課	11,049	見直し	方法の工夫・改善
73	交流拠点施設管理事業	商工観光課	1,290	現状維持	現行の内容が最適
74	交流拠点施設整備事業	商工観光課	10,477	見直し	方法の工夫・改善
75	パークゴルフ場管理事業	商工観光課	7,716	現状維持	現行の内容が最適
77	体験交流施設管理事業	商工観光課	5,662	現状維持	現行の内容が最適
80	スキーパトロール隊活動交付事業	商工観光課	300	現状維持	現行の内容が最適
81	ピパオイの里プラザ管理運営事業	商工観光課	10,968	見直し	方法の工夫・改善
84	南空知ふるさと市町村圏組合事務	企画課	899	見直し	方法の工夫・改善
85	移住・定住促進事業	企画課	1,551	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	4	観光入込客数	業務取得	北海道観光入込客数調査報告による美唄市への観光入込客数
関連指標	9	観光PR活動年間実施回数	業務取得	市外で実施した観光PR活動の年間実施回数
	10	観光情報ホームページ年間アクセス件数	業務取得	市ホームページの観光情報のページへの年間アクセス件数
	11	美唄市に移住した人数	業務取得	移住・定住情報を活用して実際に美唄に移住した人数(H23~27の累積)

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[2]にぎわいづくり
施策	(5)公共交通

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎移動に必要な交通手段がある
様々な方法により、市内の公共交通を便利に利用できる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 新しい公共交通の構築

既存の公共交通体系を高齢化や過疎化に対応したものに再編するため、地域公共交通活性化協議会で地域公共交通総合連携計画を作成し、バス交通の活性化や公共交通機関同士の連携などにより、公共交通の利便性を高めていく。

2 市民バスの効率的運行

市民からのバスの増便や停留所増設等の要望があるものの、実際の乗車率向上には結びついていないことから、利用者の少ない時間、路線等の見直しを行い、継続して運行できるよう、コストの節減と収益の確保を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	実績値				達成度 (進捗度)
				目標値	H27	H23	H24	
成果指標	5	市内公共交通の満足度	日常生活で公共交通がどの程度充足しているかを見る指標	80.0%	63.1%	62.7%	61.3%	76.6%
関連指標	12	市民バス年間利用者数	市民バス(西線・東線)の利用状況を年間延べ利用者数で見ると見る指標	95,000人	83,585人	80,254人	80,735人	85.0%
	13	市民バス1便平均利用者数	市民バスの利用状況を1便当たりの平均利用者数で見ると見る指標	7.3人	6.5人	5.9人	6.2人	△1.1人

【 施策の達成(進捗)状況 】

成果指標「市内公共交通の満足度」が目標値の80.0パーセントを下回り、61.3パーセントにとどまっているのは、「使いたい時間帯の便がない」、「近くを通るバス路線がない」ことが主な要因と分析される。

平成24年10月からアンケート調査に基づいた時刻表変更により、平成25年度においてはわずかではあるが利用者数の増となった。

また、美唄市公共交通活性化協議会において策定した「美唄市地域公共交通総合連携計画」に基づき、平成24年10月から本格運行している我路・盤の沢方面の乗合タクシーに加え、西側地区における乗合タクシーの実証運行を同年実施し、平成26年度から西側3地区においても本格運行を行うこととした。

今後は、民間で運行するバス、商店街やゆ〜りん館で運行する無料送迎バスをも含めた、より効率的な交通体系の確立に向け取り組んでいくこととする。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
88	市民バス西線運行事業	生活環境課	9,930	見直し	方法の工夫・改善
89	市民バス東線運行事業	生活環境課	32,290	見直し	方法の工夫・改善
91	美唄市バス路線維持費補助事業	生活環境課	7,404	見直し	方法の工夫・改善
92	地域公共交通活性化・再生総合事業	生活環境課	1,788	見直し	方法の工夫・改善
528	地域間幹線系統バス路線維持費補助事業	生活環境課	970	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	5	市内公共交通の満足度	まちづくり 市民アンケート	通勤・通学や買い物などへ行くときに近くにバス路線がなかったり、使いたい時間帯の便がないなどで困っていますか。 1. 近くを通るバス路線がなく困っている 2. 使いたい時間帯の便がなく困っている 3. 困るときもあるが現状のままでも我慢できる 4. 困っていない 5. その他 3・4の回答者数/全回答者数
関連指標	12	市民バス年間利用者数	業務取得	市民バス(西線・東線)の年間延べ利用者数
	13	市民バス1便平均利用者数	業務取得	市民バス(西線・東線)の年間延べ利用者数/年間総運行便数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[2]にぎわいづくり
施策	(6)情報化推進

【 主管課及び関係課 】

主管課：企画課

関係課：市民課

【 施策の目指すべき姿 】

◎必要な情報を必要なときに知ることができる

市民生活やまちづくりの活動に必要な情報を市のホームページなどを通じて、必要なときに知ることができる。また、様々なまちづくりの課題について、ICTを活用して解決につなげることができる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 情報提供の充実とインターネット環境の整備

市から提供する情報については、少子高齢化を背景として、医療・保健・福祉、子育て支援、防災・防犯など、市民生活に身近な情報をきめ細かく提供する。また、光回線のサービスエリア拡大を図るとともに、電子申請等の手続数の充実やモバイルコンピューティングへの対応などによる利便性の向上を図る。

2 協働のまちづくり支援と地域活力の向上

地域の様々な課題に対応できるよう、ICTを活用した方策を検討し、町内会活動の情報や各種のボランティア活動情報などの発信・交流により、協働のまちづくりや地域活力の向上につなげる。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値				達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25		
成果指標	6	光回線普及率	情報化を進めるための環境がどの程度整っているかを見る指標	60.0%	87.0%	87.0%	87.0%	145.0%	
関連指標	14	美唄市公式ホームページ年間アクセス件数	市からの情報受信状況を市ホームページへの年間アクセス件数で見える指標	180万件	105万件	101万件	113万件	62.8%	
	15	電子申請可能な手続数	電子自治体の進捗度をインターネットを通じてできる市への届出や申請などの手続数で見える指標	25手続	21手続	21手続	21手続	84.0%	

【 施策の達成（進捗）状況 】

平成23年12月から、市街地のほとんどが光回線サービス提供エリアとなり、平成25年9月から峰延町、上美唄町、茶志内町など郊外地域の一部もサービス提供エリアとなったことで、市内の95.6%が光回線提供エリアとなっている。

また、エリア外の地域(上美唄、西美唄、開発、豊葦などの一部)のサービス提供開始に向けて、民間事業者に対し、要望していく。

市のホームページについては、平成25年度にトップページ等を改修し、迅速でわかりやすい情報の提供に努めるとともに、市のフェイスブックを開設し、情報を積極的に配信し、双方向での情報共有を推進する。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
93	地域情報化運用事業	企画課	8,310	現状維持	現行の内容が最適
94	行政情報化運用事業	企画課	164,093	現状維持	現行の内容が最適
95	戸籍事務電算化事業	市民課	144	現状維持	債務負担行為

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果指標	6	光回線普及率	業務取得	光回線サービスエリア電話加入者数／市内電話加入者数
関連指標	14	美唄市公式ホームページ年間アクセス件数	業務取得	市ホームページへの年間アクセス件数
	15	電子申請可能な手続数	業務取得	インターネットを通じてできる市への届出や申請などの手続数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	[3]人づくり
施策	(7)子育て支援

【 主管課及び関係課 】

主管課：こども未来課

関係課：健康推進課・学務課・生涯学習課

【 施策の目指すべき姿 】

◎安心して子育てができるまち

子どもが健やかに育ち、安心して子育てができるよう、社会全体で子育てを支援するしくみができ、子育てしやすいまち。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

- 1 総合的な子育て支援の推進**
社会全体で子育てを支えるため、自主的な活動を行う「子育てサポーター」を育成するとともに、多くの団体が関わる地域子育て拠点支援事業を拡大していく。
- 2 保育環境の整備**
子どもを夜間に預かるトワイライトステイや短期間施設等で預かるショートステイを継続するとともに、病児・病後児保育事業に取り組む。認可保育所は、築35年～40年を経過し老朽化が進んでいることから、計画的な整備と将来の施設統合に関する検討を進める。
- 3 幼稚園教育**
幼稚園における預かり保育を充実するなど、ニーズに応じた保育機能の充実を図る。
- 4 放課後児童対策の充実**
放課後児童施設については、各小学校区に施設が整備されたことから地域の状況に応じた放課後児童対策の充実を図る。
- 5 青少年の健全な育成**
子どもたちの健全育成の取組を進めるとともに、子ども会育成連絡協議会などの青少年育成関係団体の活動を支援していく。また、青少年の問題行動を未然に防止し、犯罪被害から子どもたちを守るため、学校・家庭・関係機関や団体等との連携を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	7	子育てしやすいまちだと思う市民の割合	美唄市がどの程度子育てしやすい環境にあるかを市民の視点から見る指標	60.0%	25.0%	29.0%	28.1%	46.8%
関連指標	16	子育てについて気軽に相談できる相手がいない保護者の割合	子育てに関する不安感や孤独感の解消ができていくかを見る指標	0%	3.3%	2.6%	1.6%	1.6 ポイント超過
	17	乳幼児健康診査等受診率	要支援親子の早期発見、早期支援につなげるため、乳幼児・1歳6か月児・3歳児の健康診査の受診率を維持できているかを見る指標	95.0%	95.2%	97.2%	98.4%	103.6%
	18	保育サービスの充実度	保育サービスの充実度を保護者の視点から見る指標	95.0%	94.0%	94.0%	92.5%	97.4%

【 施策の達成（進捗）状況 】

成果指標「子育てしやすいまちだと思える市民の割合」が目標値の60.0パーセントを下回り、28.1パーセントと低い結果となっていることから、一層の子育て支援環境の充実や保育環境の整備などが求められているものと考えます。今後とも、関係機関や団体との連携の下、子育て世帯のニーズを踏まえた各種施策の検討が必要である。

市民との協働により子育て世代を支援する「子育てサポーター」を育成するため、まちづくりサポーター事業(子育て支援センター)を行うとともに、各イベント等の託児支援や広場事業での見守り等の活動を行い、子育てを共有し親の子育てへの負担軽減に努めている。

保育環境の改善について検討するため、保育士を中心としたワーキングチームを立ち上げ、保育ニーズや保育所再編、保育サービスの向上について検討を行った。病後児保育については、子育てサポーター講習会において先進地の事例発表をいただき、その取組を検討した。

幼稚園の預かり保育は、私立において保護者ニーズを的確に捉え取り組まれており、公立においても保護者の意向を取り入れ現況に即した活用を継続していく。

放課後児童施設については、各小学校区で開設していることから、今後も活用について充実を図る。

子どもの健全育成や犯罪被害から子どもたちを守るため、各関連団体や学校、家庭との連携を継続して取り組んでいる。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
96	家庭児童相談事業	こども未来課	19	見直し	方法の工夫・改善
97	こども療育広場(児童デイサービス)事業	こども未来課	7,416	見直し	方法の工夫・改善
98	子育て支援センター管理事業	こども未来課	3,292	見直し	方法の工夫・改善
99	子育ての広場運営事業	こども未来課	5,800	現状維持	現行の内容が最適
102	子育て短期支援事業	こども未来課	38	現状維持	現行の内容が最適
103	地域子育て拠点支援事業	こども未来課	298	見直し	方法の工夫・改善
104	子育て地域ささえあい事業	こども未来課	589	現状維持	現行の内容が最適
107	児童手当支給事業	こども未来課	251,479	現状維持	法令等の定めあり
108	児童扶養手当等支給事業	こども未来課	140,252	現状維持	法令等の定めあり
109	障がい児居宅生活支援費給付事業	こども未来課	19,243	現状維持	法令等の定めあり
110	障がい児等保育事業	こども未来課	7,637	現状維持	現行の内容が最適
111	母子・父子家庭等支援事業	こども未来課	133	現状維持	現行の内容が最適
112	母子家庭自立支援給付金事業	こども未来課	16	現状維持	法令等の定めあり
113	助産施設事業	こども未来課	3,489	現状維持	法令等の定めあり
114	乳幼児健康増進事業	健康推進課	920	見直し	方法の工夫・改善
115	親子の健康づくり事業	健康推進課	84	見直し	方法の工夫・改善
116	乳幼児等医療費助成事業	市民課	15,150	見直し	拡充
118	市立保育所管理運営事業	こども未来課	33,377	見直し	拡充
120	一時保育事業	こども未来課	2,142	現状維持	現行の内容が最適
121	延長保育事業	こども未来課	2,486	見直し	方法の工夫・改善
122	へき地保育所管理運営事業	こども未来課	57,058	見直し	方法の工夫・改善
123	幼稚園管理運営事業	学務課	1,737	現状維持	現行の内容が最適
124	幼稚園維持修繕事業	学務課	1,159	現状維持	現行の内容が最適
125	私立幼稚園就園奨励補助事業	学務課	15,453	現状維持	法令等の定めあり
126	美唄市子ども会育成連絡協議会支援事業	生涯学習課	840	見直し	方法の工夫・改善
127	児童館管理運営事業	生涯学習課	9	見直し	方法の工夫・改善
128	青少年センター運営事業	生涯学習課	83	見直し	方法の工夫・改善
129	青少年健全育成事業	生涯学習課	765	見直し	方法の工夫・改善
131	青少年問題協議会運営事業	生涯学習課	109	見直し	方法の工夫・改善
133	地域青少年指導対策補助事業	生涯学習課	234	見直し	方法の工夫・改善
138	美唄市青少年野外教育活動補助事業	生涯学習課	130	見直し	方法の工夫・改善

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
139	スポーツ少年団育成補助事業	生涯学習課	250	見直し	方法の工夫・改善
140	ブックスタート事業	市立図書館	293	見直し	方法の工夫・改善
514	放課後児童対策事業	生涯学習課	28,091	見直し	方法の工夫・改善
523	子育て支援対策事業	こども未来課	1,499	現状維持	法令等の定めあり
529	育成医療給付事業	こども未来課	169	現状維持	法令等の定めあり
530	美唄学園改築補助事業	こども未来課	26,681	終了	事業完了
531	認定こども園管理運営事業	こども未来課	9,777	見直し	方法の工夫・改善
532	認定こども園施設整備事業	こども未来課	4,977	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	7	子育てしやすいまちだと思う市民の割合	まちづくり市民アンケート	美唄市は子育てしやすいまちだと思いますか(小学校6年生までの子を持つ方)。 1.はい 2.いいえ 1の回答者数/全回答者数
関連指標	16	子育てについて気軽に相談できる相手がいない保護者の割合	まちづくり市民アンケート	子育てで困ったときに、気軽に相談できる相手は誰ですか。 1.夫・妻 2.母親、父親(配偶者の母親、父親) 3.友人 4.子育て支援センターの相談員や保健センターの保健師 5.近所の人 6.保育所の保育士、幼稚園、学校の先生 7.医師 8.その他() 9.特にいない 9の回答者数/全回答者数
	17	乳幼児健康診査等受診率	業務取得	
	18	保育サービスの充実度	担当課(保育所)アンケート	市の保育サービスが充実していて安心して働けると感じている保護者数/全回答者数(市の保育所の保護者)

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	[3] 人づくり
施策	(8) 学校教育

【 主管課及び関係課 】

主管課：学務課

関係課：指導室

【 施策の目指すべき姿 】

◎基礎的・基本的な学力を身につけた子どもが育つ

基礎・基本の学力をつけるための学習の習慣が身に付き、豊かな人間性を持った子どもたちが育つ学校教育が行われる。また、地域との結びつきを大切にしながら豊かな体験機会により、たくましく生きる力を持った子どもたちが育ち、幼稚園から高等学校までの特色ある教育活動の連携が生まれる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 学校教育

家庭との連携により家庭学習の習慣化に向けた取組を進めるほか、地域に根ざし暮らしに学ぶという視点から、小学校において農業体験学習を地域や保護者と一体になって進め、小学校段階から、自ら学び考える力を身に付け、生きる力の育成を図るとともに、農業体験学習や食育を通じて幼稚園、中学校、高校などと学びの連携を図り、本市の特色ある教育の推進に努める。また、情報化社会に対応した児童・生徒に分かりやすい学習を進めるため、研修等による教員の情報活用能力を高める。

学校において特別な支援が必要な子どもについては、学校教育だけでなく、地域や家庭、関係機関との連携により、支援体制の充実を図る。

2 教育環境の整備

老朽化に伴う校舎の計画的な改修を実施するとともに、地域の人たちとともに登下校時の安全を見守り、児童生徒の安全の確保に取り組む。また、利用の見込みのない教職員住宅については、老朽化による危険度や景観などを勘案し、順次、解体を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	8	家庭学習を毎日1時間以上行っている児童・生徒の割合	学力向上のため、児童・生徒が家庭学習の習慣を身につけているかを見る指標	 H20より高める 小学生 41.3% 中学生 42.0%	小学生 23.8%	36.2%	46.9%	+5.6 ポイント
					中学生 77.2%	51.2%	50.9%	+8.9 ポイント
関連指標	19	学習内容を理解している児童・生徒の割合	学習指導の充実に向けた取組の成果を標準学力検査の結果から見る指標	 H20より高める 67.1%	72.3%	64.7%	63.0%	△4.1 ポイント
	20	不登校児童・生徒数	不登校に対する取組の状況を見る指標	 H20より減少させる 21人	31人	19人	28人	+7人

【 施策の達成（進捗）状況 】

「確かな学力育成プラン」のもと、学校と家庭・地域が連携し、基礎・基本の着実な定着に向けた取組を進めてきている。行政としては、学校を核として、家庭や地域関係者等との円滑な連携が一層図られるよう、環境整備に努めて行くことが求められている。

小学生の家庭学習については改善の傾向が伺えることから、今後も、基本的な生活習慣が定着するよう家庭への啓発を進め、学習意欲の向上に努めていく。

また、特色ある教育の推進に関しては、グリーン・ルネサンス推進事業を中心に幼・小・中・高の連携が図られており、さらに学校の主体的な取組として進められるよう環境整備に努めていく。

特別支援教育については、美唄市特別支援教育連携協議会が中心となり、職員研修の実施等を通して支援の充実に努めてきた。今後は、これまで取り組んできた個別の教育支援計画を共有し指導に生かす取組を進め、一層、実効性のある支援体制や指導の在り方に努めていく。

校舎等については、安心・安全を最優先とした施設改修に努めてきた。また、通学路の安全確保は、地域関係機関の協力により見守りを中心に対応が図られている。

老朽化した教職員住宅は、8棟21戸の解体撤去を実施。今年度で解体撤去を完了した。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
143	教育振興事業	学務課	655	見直し	方法の工夫・改善
145	教師用教科書・指導書購入事業	学務課	180	見直し	拡 充
146	小学校管理運営事業	学務課	57,582	見直し	方法の工夫・改善
147	小学校教材購入事業	学務課	5,876	現状維持	現行の内容が最適
148	小学校コンピュータ教育事業	学務課	438	現状維持	現行の内容が最適
149	小学校大規模改修事業	学務課	74,393	現状維持	現行の内容が最適
150	小学校維持修繕事業	学務課	7,998	現状維持	現行の内容が最適
151	小学校机椅子更新事業	学務課	400	現状維持	現行の内容が最適
152	小学校社会科副読本編成事業	指導室	1,677	終 了	事業完了
153	中学校管理運営事業	学務課	45,655	見直し	方法の工夫・改善
154	中学校教材購入事業	学務課	3,979	現状維持	現行の内容が最適
155	中学校コンピュータ教育事業	学務課	606	現状維持	現行の内容が最適
157	中学校大規模改修事業	学務課	10,416	現状維持	現行の内容が最適
158	中学校維持修繕事業	学務課	6,017	現状維持	現行の内容が最適
159	中学校机椅子更新事業	学務課	344	現状維持	現行の内容が最適
160	外国人講師小中学校派遣事業	指導室	5,533	見直し	拡 充
161	小中学校文化行事開催事業	学務課	137	現状維持	現行の内容が最適
162	就学援助事業	学務課	32,313	現状維持	現行の内容が最適
163	学校保健管理事業	学務課	7,062	現状維持	現行の内容が最適
164	学校事故・災害対策事務(学校災害賠償保険等)	学務課	1,519	現状維持	現行の内容が最適
165	特別支援教育振興事業	指導室	1,146	現状維持	現行の内容が最適
166	不登校児童生徒指導対策事業	指導室	2,428	現状維持	現行の内容が最適
167	学校支援地域本部事業	生涯学習課	434	見直し	方法の工夫・改善
168	中体連南空知大会補助事業	学務課	220	現状維持	現行の内容が最適
169	美唄市文化・体育大会派遣補助事業	学務課	3,764	現状維持	現行の内容が最適
170	グリーン・ルネサンス推進事業	学務課	1,384	見直し	方法の工夫・改善
171	スクールバス運行維持管理事業	学務課	52,241	見直し	拡 充
172	スクールバス更新事業	学務課	5,414	終 了	休 止

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
173	学校給食センター管理運営事業	学務課	41,811	見直し	方法の工夫・改善
174	学校給食費管理補助事業	学務課	954	見直し	方法の工夫・改善
175	学校給食センター整備事業	学務課	2,100	見直し	方法の工夫・改善
176	言語治療教室事業	指導室	117	現状維持	現行の内容が最適
177	空知教育センター組合事業	学務課	1,039	現状維持	現行の内容が最適
178	小学校教職員住宅維持修繕事業	学務課	295	現状維持	現行の内容が最適
179	中学校教職員住宅維持修繕事業	学務課	657	現状維持	現行の内容が最適
180	教職員健康診断事務	学務課	1,210	現状維持	現行の内容が最適
181	教職員住宅整理事業	学務課	18,751	終了	廃止
182	奨学資金貸付事業	学務課	576	現状維持	現行の内容が最適
183	北海道中央コンピュータカレッジ入学金助成事業	学務課	240	終了	廃止
184	教育委員会運営事務	学務課	4,281	見直し	方法の工夫・改善
492	学力向上プロジェクト推進事業	指導室	1,334	現状維持	現行の内容が最適
493	通級指導教室交通費助成事業	指導室	31	現状維持	現行の内容が最適
533	学校施設・設備整理配置事業	学務課	4,418	現状維持	現行の内容が最適
534	北海道中学校卓球大会補助事業	学務課	500	終了	事業完了

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	8	家庭学習を毎日1時間以上行っている児童・生徒の割合	業務取得	全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙)において、学校の授業時間以外に1時間以上勉強をしていると回答した児童・生徒の割合
関連指標	19	学習内容を理解している児童・生徒の割合	業務取得	標準学力検査における5段階分布の3段階以上の児童・生徒の割合
	20	不登校児童・生徒数	業務取得	不登校児童・生徒数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	[3] 人づくり
施策	(9) 芸術・文化・生涯学習

【 主管課及び関係課 】

主管課：生涯学習課

関係課：市立図書館

【 施策の目指すべき姿 】

◎いつでも、どこでも学ぶことができる

自発的に学ぶための情報や場があり、誰もが、いつでも、どこでも学ぶことができる。
また、アルテピアッツァ美唄など、芸術に触れることのできる環境や活動の発表の場が充実している。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 生涯学習活動の充実

市民カレッジや美唄サテライト・キャンパス(市民教養講座)、講演会などにより、学習機会の充実を図るとともに、市の広報紙やホームページなどを活用して学習情報の提供を行うほか、市民カレッジ等でごみや環境、少子高齢化問題など、社会の要請にこたえる学習機会を提供し、地域の課題解決や地域の教育力向上など、まちづくりと連動した生涯学習を推進する。また、市民が自ら蓄積した知識・技能・経験などを地域に活かすしくみづくりに取り組む。

総合型地域スポーツクラブ「どんまい」の取組を支援するとともに、高齢者が気軽に取り組める軽スポーツの普及やスポーツクラブの育成支援、スポーツ教室の開設や大会の開催などを通じて、多くの市民がスポーツを楽しむことができる環境づくりを進める。

スポーツ施設や社会教育施設については、必要な改修を進める。

2 歴史、文化財等の伝承と活用

歴史と文化を大切に、広くまちづくりや市民の文化活動に活かしていくため、文化財や伝統文化の保存と活用を引き続き進める。

また、郷土史料館は、施設の改修とともに、児童・生徒や市民の郷土学習の拠点として活用が広がるよう、郷土史料の市広報紙・ホームページなどでの紹介や体験講座の開催など、利用促進に向けた取組を進める。

3 芸術・文化に親しむ環境づくり

優れた芸術に触れることのできる環境づくりを進めるとともに、アルテピアッツァ美唄の利用促進と他の施設などとの連携を図る。

市民が自主的に行う芸術・文化活動については、豊かなこころを醸成し、まちの活性化につながるよう、市民文化祭の開催やサークル・団体の育成、相互交流など、自主的な活動に対する支援を行う。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	9	生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	生涯学習・スポーツに関する施設や情報の提供により、市民が生涯学習活動の機会を得られているかを見る指標	38.0%	42.3%	42.5%	43.6%	114.7%
関連指標	21	市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合	身近に芸術・文化にふれる機会があるかを見る指標	30.0%	34.0%	37.0%	29.6%	98.7%
	22	市民文化祭に参加した市民の人数	文化活動に関心があり、実践していることを市民文化祭の参加者数から見る指標	1,500人	1,146人	1,170人	1,003人	66.9%
	23	スポーツ教室年間参加者数	スポーツに関心があり、実践していることをスポーツ教室の年間参加者数から見る指標	800人	3,106人	2,950人	2,942人	367.8%

【 施策の達成（進捗）状況 】

「生涯学習活動の充実」については、平成25年度で市民カレッジ(8講座)に延べ234人が参加、各種講座や講演会にも多くの市民が参加した。総合型地域スポーツクラブ「どんまい」では、幅広い年齢層が取り組めるカローリングやテニポンの講習会等を通して普及に努めている。

「歴史、文化財等の伝承と活用」については、道指定文化財の屯田兵屋や旧桜井家住宅など老朽化の進む木造建造物の維持修繕に努め広く公開しているほか、平成25年度には木造文化財の保存について今後の検討材料としていただくため、他市の状況を文化財保護委員に視察いただいた。また、旧桜井家住宅は公民館分館として野点や邦楽演奏などの催しに活用されている。

郷土史料館は、平成21年度から冬期間を閉館しているが、この期間を活用して市内各所で移動史料館を開催しており、平成25年2月にロシアに隕石が落下した際には、光珠内いん石展を急きょ開催し、1,000名を超える見学者があった。

「芸術・文化に親しむ環境づくり」については、公民館事業により多くの文化サークルの活動を支援、特に市民文化祭には、平成25年度には1,003人が出品・出演し、盛大に開催された。また、美唄市文化協会が中心となり、演劇や演奏会、文化講座が開催されたほか伝統文化子どもフェスティバルや子ども書初め大会の開催により子どもたちに伝統文化に触れる機会が提供された。

なお、指標では、平成25年度は、「これらに取り組む市民の割合」は市民の熱心な取組により前年を上回ったが、「市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合」については昨年を下回り、景気の影響のほかニーズに合ったプログラムの検討が必要である。「市民文化祭に参加した市民の人数」は前年を下回ったが、文化協会会員以外の参加料の徴収の影響が考えられる。「スポーツ教室年間参加者数」については、市直営事業の整理によるスポーツ教室の一部廃止があったが、体育協会主催事業が盛況であり、全体には横ばい傾向にあり、今後一層、市民ニーズに応じた事業の実施に取り組む必要がある。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
187	アルテピアッツァ美唄管理運営事業	生涯学習課	20,361	見直し	方法の工夫・改善
188	アルテピアッツァ美唄整備事業	生涯学習課	5,229	見直し	方法の工夫・改善
190	公民館・市民会館管理運営事業	生涯学習課	33,659	見直し	方法の工夫・改善
191	市民会館文化補助事業	生涯学習課	800	見直し	方法の工夫・改善
192	南美唄コミュニティセンター管理運営事業	生涯学習課	1,089	見直し	方法の工夫・改善
194	郷土史料館管理運営事業	生涯学習課	1,509	見直し	方法の工夫・改善
200	社会教育施設管理事業	生涯学習課	186	見直し	方法の工夫・改善
201	生涯学習事業	生涯学習課	217	見直し	方法の工夫・改善
203	文化財保護事業	生涯学習課	774	見直し	方法の工夫・改善
205	スポーツ大会・教室開設事業	生涯学習課	487	見直し	方法の工夫・改善
206	保健体育管理事務	生涯学習課	404	見直し	方法の工夫・改善
207	体育施設管理運営事業	生涯学習課	7,614	見直し	方法の工夫・改善
208	温水プール管理運営事業	生涯学習課	33,373	見直し	方法の工夫・改善
209	体育センター管理運営事業	生涯学習課	5,973	見直し	方法の工夫・改善
210	総合体育館管理運営事業	生涯学習課	24,917	見直し	方法の工夫・改善
211	総合体育館整備事業	生涯学習課	11,544	見直し	拡充
212	体育施設整備事業	生涯学習課	11,529	見直し	拡充
213	図書整備と資料奉仕活動事業	市立図書館	2,271	現状維持	現行の内容が最適
214	地域奉仕活動と巡回奉仕活動事業	市立図書館	1,097	現状維持	現行の内容が最適
215	図書館O A化推進事業	市立図書館	3,848	現状維持	現行の内容が最適
216	図書館管理運営事業	市立図書館	3,085	現状維持	現行の内容が最適
217	児童図書整備と資料奉仕活動事業	市立図書館	1,431	現状維持	現行の内容が最適
535	温水プール整備事業	生涯学習課	3,066	見直し	拡充

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	9	生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	まちづくり市民アンケート	生涯学習として何か活動を行っていますか。 1. 教養・資格 2. 芸術・文化 3. 趣味・娯楽 4. スポーツ・レクリエーション 5. ボランティアや地域活動 6. その他 7. 特に行っていない 1~6の回答者数/全回答者数
関連指標	21	市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合	まちづくり市民アンケート	この1年間に市内で行われた音楽会、美術展、演劇など、芸術・文化の鑑賞のためにどのくらい足を運びましたか。 1. 5回以上 2. 2~4回 3. 1回 4. 鑑賞していない 1~3の回答者数/全回答者数
	22	市民文化祭に参加した市民の人数	業務取得	市民文化祭に出展、出演した市民の人数
	23	スポーツ教室年間参加者数	業務取得	市や美唄市体育協会が実施する各種スポーツ教室に参加した市民の人数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	[3] 人づくり
施策	(10) 男女共同参画

【 主管課及び関係課 】

主管課：企画課

【 施策の目指すべき姿 】

◎男女が平等であるという意識が広く浸透する

性別による役割分担意識にとらわれない男女平等意識、人権意識が広く浸透し、あらゆる分野において対等なパートナーとして男女がともに参画できる社会になっていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 啓発活動と協働による取組み

男女共同参画やワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の考え方が広く理解されるよう、講演会やワークショップの開催、市の広報紙やホームページなどを活用した啓発活動を継続して行うとともに、講演会等での託児サービスの充実など、性別や家庭環境などにかかわらず暮らしの質を高めることができるよう、協働による活動を広げていく。

2 女性登用の推進

政策・方針決定の場への女性参画を推進するため、市の審議会等への女性の登用を進める。

3 暴力の根絶に向けたネットワークづくり

あらゆる暴力を根絶するため、関係機関、団体の相互の連携強化を進め、配偶者からの暴力の防止、被害者の保護や自立支援のためのネットワークづくりに取り組む。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	実績値				達成度 (進捗度)
				目標値	H27	H23	H24	
成果指標	10	固定的な性別役割分担意識を持たない市民の割合	男女共同参画の考え方の浸透度を見る指標	60.0%	42.7%	55.0%	54.6%	91.0%
関連指標	24	現在、男女が平等だと感じている市民の割合	男女共同参画の取組の成果を男女平等と感じている市民の割合から見る指標	30.0%	51.7%	53.3%	51.3%	171.0%
	25	市の審議会等への女性の登用率	男女共同参画の状況を市の審議会等への女性の登用率から見る指標	30.0%	20.9%	21.4%	20.0%	66.7%

【 施策の達成(進捗)状況 】

美唄市男女共同参画推進協議会と連携し、ワークショップやパネル展、講演会の開催、広報紙(年2回)並びに10周年記念誌(平成25年度)の発行など、男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めた。

今後もこれらの取組を継続していくとともに、広報紙やホームページ等を活用し、より一層の啓発活動に努めていく。

審議会等への女性登用率の向上を図るため、各審議会等に対し女性委員の登用を積極的に働きかけていく。

女性や子どもへの暴力根絶に向けた取組として、啓発パンフレットや啓発ポスターを公共施設に配置したほか、市の広報紙やホームページに啓発記事を掲載した。また、配偶者暴力防止に関する会議に参加し、国や道をはじめ関係団体との連携を深めた。今後とも、これらの取組を継続していく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
219	男女共同参画社会形成促進事業	企画課	0	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	10	固定的な性別役割分担意識を持たない市民の割合	まちづくり市民アンケート	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。 1. 同感しない 2. どちらかといえば同感しない 3. どちらかといえば同感する 4. 同感する 5. わからない $1 \cdot 2$ の回答者数 / 全回答者数
関連指標	24	現在、男女が平等だと感じている市民の割合	まちづくり市民アンケート	現在の男女の地位の平等感についてどのように感じていますか。 1. 平等である 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている 3. どちらかといえば女性の方が優遇されている 1 の回答数 / 全回答数
	25	市の審議会等への女性の登用率	業務取得	審議会等の女性委員の数 / 審議会等の委員の数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	[3]人づくり
施策	(11) 平和施策

【 主管課及び関係課 】

主管課：総務課

【 施策の目指すべき姿 】

◎平和を願い、考える機会がある

市民一人ひとりが平和を願い、平和の大切さを考える機会を持つことができる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 啓発活動と協働による取組み

核兵器廃絶平和都市宣言に込めた世界平和の願いが小中学生から高齢者まで広い世代にわたり浸透していくよう、啓発活動を継続するとともに、多くの市民や団体との協働による平和祈念行事を開催して、平和について考える機会を確保しながら、世界平和と核兵器の廃絶を願う市民の輪を更に広げていく。

2 他都市との連携

平和首長会議では、「2020ビジョン(核兵器廃絶のための緊急行動)」に基づく取組の一つとして、世界の都市や自治体による賛同署名活動に取り組んでおり、美唄市もこの動きに連動するなど、平和を願う国内外の都市との連携を図っていく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	実績値				達成度 (進捗度)
				目標値	H27	H23	H24	
成果指標	11	平和祈念行事数	平和について考える契機となる行事の数から、平和施策の継続した取組状況を見る指標	4件	4件	4件	4件	100.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

啓発活動と協働による取組については、まちづくりの理念である「平和の希求」を具体化するため、平和ミニコンサート及びポスター展を開催したほか、図書館に平和図書コーナーを設置するなど、「平和祈念行事」を実施し、核廃絶や平和の大切さを啓発した。

他都市との連携については、158か国、5,800を超える都市や自治体により構成される平和首長会議が取り組む署名活動を行ったほか、今後とも核兵器廃絶に向けた具体的な取組が行われるよう、平和を願う国内外の都市や自治体との連携を図っていく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				見直し	事務事業の今後の方向性 方法の工夫・改善
221	平和祈念事業	総務課	45	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	11	平和祈念行事数	業務取得	平和祈念のための年間行事数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	[4] 環境づくり
施策	(12) 自然保護

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎豊かで美しい自然が残っている

ラムサール条約登録湿地である宮島沼をはじめ市内に残る貴重な自然環境を維持、保全することにより、多くの人を楽しむことができる豊かで美しい自然が残っている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 宮島沼の保全と活用

宮島沼は国際的にも貴重な渡り鳥の寄留地であり、地域住民や関係機関と協力しながら、ワイズユースの推進に取り組み、周辺環境整備を進めるとともに、子どもたちが自然の大切さを感じ、野鳥や植物等を観察しながら身近に自然と親しめるよう、環境学習を推進する。

また、宮島沼の浅底化の防止やマガンによる小麦の食害対策については、道との連携など、広域的な取組を進める。

2 自然を大切に作る協働のしくみづくり

市内の豊かな自然とのふれあいを大切に、人と自然が共生できる社会を目指して、必要な情報を発信し、市民、企業、行政がそれぞれの立場で役割を果たし、生物多様性に配慮した協働による活動を進めていくしくみづくりに取り組む。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	12	市内の自然環境の満足度	自然環境の保全と活用の取組の成果を市民の満足度から見る指標	H20より高める 81.0%	84.6%	88.9%	85.3%	+4.3 ポイント
関連指標	26	宮島沼に関する環境学習会への年間参加者数	自然環境の保全と活用の取組状況を環境学習参加者数から見る指標	300人	102人	76人	53人	17.7%

【 施策の達成（進捗）状況 】

市内の自然環境の満足度については、目標値を達成している。

宮島沼に関する環境学習会への参加者数については、前年度実績値よりも更に減少した結果となっているが、これは、施設改修工事による学習会開催数の減少によるものが要因となっており、宮島沼や自然保全への関心が低くなったものではないと思われる。

今後も、宮島沼のワイズユースの推進に取り組んでいくとともに、環境学習会や情報発信基地として環境教育の推進を図るとともに、周辺環境の整備などにも取り組み、地域住民と協働で貴重な自然の保全に努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
222	宮島沼水鳥・湿地センター管理運営事業	生活環境課	516	現状維持	現行の内容が最適
223	宮島沼自然環境保全基礎調査事業	生活環境課	4,738	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果指標	12	市内の自然環境の満足度	まちづくり 市民アンケート	市内の自然環境について、どのように感じていますか。 1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. 普通 4. どちらかといえば 不満 5. 不満 1~3の回答者数/全回答者数
関連指標	26	宮島沼に関する環境学習 会への年間参加者数	業務取得	宮島沼に関する環境学習会への年間参加者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	[4] 環境づくり
施策	(13) 環境行動

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎地球にやさしい生活をする市民が増えていく
 多くの人が環境を大切にすることを意識を持ち、環境に配慮した行動を取っている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 環境意識の高揚

市民一人ひとりが身近な地域や地球規模の環境について理解を深め、環境を大切にすることがとれるよう環境学習を推進する。

市民が環境に対する意識を高め、環境保全活動へと結びつけるために、環境に関する情報を収集し、これらの情報が市民や事業者にも有効に活用されるよう情報提供を充実させる。

2 環境行動の実践

市民や事業者、団体の自主的な環境保全活動を促進するとともに、必要な支援を行う。また、市民、事業者、市との協働による環境保全活動に取り組む。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	13	地球にやさしい生活をしている市民の割合	環境への負荷を減らす取組の成果を具体的な行動を行っている市民の割合から見る指標	 H20より高める 65.2%	76.1%	80.0%	79.1%	+13.9 ポイント
関連指標	27	エコセミナー参加者数	環境に配慮した生活や低炭素社会づくりに対する関心の度合いをエコセミナー参加者数から見る指標	100人	88人	78人	80人	80.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

地球にやさしい生活をしている市民の割合は目標値に到達しており、環境に対する意識が高くなっている。

エコセミナー参加者数については目標値に到達していないが、聴講者アンケート調査の結果から、セミナーの内容について約8割の参加者が満足若しくはやや満足と回答し、来年以降も参加したいとの回答が8割を超えている。よって、講演会などの環境学習やパネル展などの情報提供の場を設けることで、環境保全に関心を深め、活動に取り組もうという意識を持った市民が多くいることが伺える。

今後も、エコセミナーの継続的な開催により、積極的に市民や団体等に向けて身近な問題から地球規模の問題等、幅広く環境保全についての情報や学習の場の提供に努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
224	公害防止対策事業	生活環境課	1,563	現状維持	現行の内容が最適
225	環境衛生推進事業	生活環境課	8,570	現状維持	現行の内容が最適
226	野犬掃とう事業	生活環境課	413	現状維持	現行の内容が最適
227	墓地管理運営事業	生活環境課	784	見直し	方法の工夫・改善
228	火葬場管理運営事業	生活環境課	21,626	見直し	方法の工夫・改善
229	火葬場整備事業	生活環境課	1,207	見直し	方法の工夫・改善
232	エコセミナー開催事業	生活環境課	13	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	13	地球にやさしい生活をしている市民の割合	まちづくり 市民アンケート	地球環境にやさしい生活をするために行っていることはありますか。 1. 節電・節水に努めている 2. 自動車のアイドリングをひかえている 3. 買い物にマイバックを持参している 4. 洗剤などは詰め替え可能な商品を選んでいる 5. 再生素材を使用した商品をなるべく選んでいる 6. ごみの分別をきちんとしている 7. 生ごみは、たい肥化してごみの減量に努めている 8. その他() 9. 特に行っていない 1~8のうち、3つ以上行っている回答者数/全回答者数
関連指標	27	エコセミナー参加者数	業務取得	エコセミナー参加者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	[4] 環境づくり
施策	(14) ごみ処理

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎ごみの発生が抑えられ、正しく処理されている

ごみの発生・排出を少なくし、資源の積極的なリサイクルを進めることにより、環境に与える負荷を軽減する資源循環型社会に向かっていく。

また、環境教育が行われ、ごみの適正排出についての理解が深まっていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 ごみの適正処理

ごみの分別排出の徹底により、適正分別率が向上することで、ごみの発生抑制と資源化できるごみの適正な排出を促進していくとともに、生ごみの中間処理施設整備やリサイクルセンターの充実により資源循環型社会を推進していく。

また、生ごみ以外の燃やせるごみについても、広域による中間処理施設の整備により、適正な処理を行う。

し尿及び浄化槽汚泥についても、処理量の減少や処理施設の老朽化が進んでいることから、新たに広域的な処理をするための施設整備に取り組み、適正処理を図る。

2 ごみの減量と資源リサイクル

衛生協会の連合会やサンアール推進員と連携した啓発活動等を通じ、ごみの減量化等に対する市民意識の高揚を図るとともに、生産、流通、消費の各段階でのごみの発生抑制や排出されたごみの減量化・リサイクルの推進により、「ごみゼロ」に向けた環境について、学習会や情報交換などの取組を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値				達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25		
成果指標	14	ごみの適正分別率	ごみの適正な排出に関する意識の向上と実践度を見る指標	86.0%	80.0%	77.0%	78.5%	91.3%	
関連指標	28	市民1人当たり年間ごみ排出量	ごみ排出量が減少しているかを見る指標	0.36t	0.37t	0.38t	0.34t	△ 0.02t	
	29	ごみ不法投棄件数	ごみが適正に処理されているかを見る指標	0件	204件	205件	201件	201件 超過	
	30	リサイクル率	ごみのリサイクルの状況を見る指標	18.2%	13.0%	14.0%	18.9%	103.8%	

【 施策の達成（進捗）状況 】

ごみの適正分別率は目標値に到達しておらず、今後は生ごみが分別収集されることから、一層の適正分別による排出が求められる。
 市民一人当たりのごみ排出量については、目標値を達成している。
 ごみ不法投棄件数は、目標値に達していない。
 リサイクル率については、木質リサイクルを開始したことにより、目標値を達成した。
 今後も、市職員による市内巡回指導や衛生協力会連合会・サンアール推進員など地域との連携により、適正分別排出や不法投棄に対する啓発指導の徹底を図るとともに、出前講座の開催により、ごみの排出抑制や再資源化に向けた取組を進める。ごみの適正分別率が向上することで、ごみの減量化やリサイクル率の向上が図られる。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
234	ごみの減量化・再資源化推進事業	生活環境課	69,987	見直し	方法の工夫・改善
236	リサイクルセンター整備事業	生活環境課	1,349	見直し	方法の工夫・改善
237	リサイクルセンター管理運営事業	生活環境課	18,336	見直し	方法の工夫・改善
238	し尿処理場整備事業	生活環境課	2,993	見直し	縮小
239	ごみ収集運搬等事業	生活環境課	91,196	現状維持	現行の内容が最適
240	最終処分場管理運営事業	生活環境課	100,749	見直し	方法の工夫・改善
241	ごみ処理センター管理運営事業	生活環境課	6,084	現状維持	現行の内容が最適
242	し尿処理場管理運営事業	生活環境課	62,420	見直し	縮小
243	し尿収集運搬等事業	生活環境課	39,624	見直し	方法の工夫・改善
246	最終処分場整備事業	生活環境課	1,943	見直し	方法の工夫・改善
247	し尿共同処理施設整備事業	生活環境課	49,900	現状維持	現行の内容が最適
497	ごみ広域処理焼却施設整備事業	生活環境課	71,808	現状維持	現行の内容が最適
522	生ごみ堆肥化施設整備事業	生活環境課	13,387	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	14	ごみの適正分別率	業務取得	$\frac{\text{適正分別排出量}(\text{可燃ごみ総排出量} \times \text{組成分析より算出した可燃ごみ適正分別率} + \text{不燃ごみ総排出量} \times \text{組成分析より算出した不燃ごみ適正分別率})}{\text{ごみ総埋立量}}$
関連指標	28	市民1人当たり年間ごみ排出量	業務取得	$\frac{\text{年間ごみ収集量}}{\text{年度末住民基本台帳人口}}$
	29	ごみ不法投棄件数	業務取得	市で対応した年間不法投棄件数
	30	リサイクル率	業務取得	$\frac{\text{資源ごみ収集量}}{\text{ごみ総排出量}}$

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	[5] うるおいづくり
施策	(15) 都市基盤整備

【 主管課及び関係課 】

主管課：都市計画課

関係課：都市整備課・建築住宅課・水道課
・下水道課

【 施策の目指すべき姿 】

◎機能的な都市基盤が整っている

道路や下水道など、市民生活を送る上で必要な都市基盤が整い、機能的な都市環境ができている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 土地利用と道路交通網などの整備

人口規模に見合ったコンパクトな市街地の形成に向けて、現在の市街地を基本とした用途地域の見直しを行うなど、秩序ある都市空間づくりを進める。

道路整備を継続するとともに、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく改修等のほか、国道12号の4車線化の早期完成に向けた要望を継続して行う。

道路の除排雪については、広域ブロック化に基づいた効率的な除排雪を行い、冬期の安全な生活と交通を確保する。

また、景観に配慮した公共サインの整備を進める。

2 公営住宅

美唄市公営住宅ストック総合活用計画を見直し、ユニバーサルデザインの視点に立った公営住宅等の改善による長寿命化を図り、安全性を確保しながら効率的な維持管理を行う。

3 上下水道

下水道については、美唄市流域関連公共下水道計画に合わせ、峰延地区、茶志内地区、光珠内地区など、計画的に整備を進め、普及率の向上を図る。

上水道については、水質の管理を徹底し、安全で安定した飲料水の供給を維持するため、老朽配水管の改良と浄水場の整備を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	15	都市機能の満足度	都市基盤整備の成果をJR美唄駅を中心とした都市機能に対する市民の満足度から見る指標	 H20より高める 66.3%	73.8%	73.4%	68.3%	+2.0 ポイント
関連指標	31	道路舗装率	道路整備の状況を舗装率から見る指標	55.0%	52.4%	52.6%	52.9%	96.2%
	32	道路除排雪の満足度	道路の除排雪に関する成果を市民の満足度から見る指標	 H20より高める 41.6%	52.1%	53.8%	53.6%	+12.0 ポイント
	33	下水道普及率	生活基盤整備の達成度を下水道の普及率から見る指標	81.3%	74.3%	74.8%	75.2%	92.5%

【 施策の達成（進捗）状況 】

道路新設改良事業については、西21線の用地買収と支障物件補償及び改良、美培線の改良舗装、拓北・峰樺西7号線の舗装、癸巳地区の改良舗装、峰延地区ほか5地区の簡易舗装、沼の内地区の道路改良、峰延地区ほか6地区の側溝整備を実施した。

また、都市計画街路整備事業については、西4条南3丁目地区の改良舗装、東3条南1丁目地区ほか4地区の簡易舗装、東2条南7丁目地区ほか3地区の側溝整備を実施した。

なお、道路改良率は69.8%、道路舗装率は52.9%となる。

橋りょうについては、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、光北橋と光陽橋の架換えを実施した。

除排雪については、市民生活や経済活動の基盤となる道路交通網を確保するため、効率的な除排雪の実施に努めた。

また、中心市街地についても、民間との協力・連携した除排雪を実施した。

今後も、道路整備を継続するとともに、橋梁長寿命化修繕計画による修繕及び改修等のほか、国道12号の4車線化や主要道道美唄富良野線、旭通などの道道整備の早期完成に向けた要望を行うこととする。

市営住宅については、東光団地や東明恵愛団地の外部改修など、入居されている方々の居住環境の改善や、東明中央第2団地の用途廃止を行ったほか、民間住宅については、引き続き改修促進の助成を実施した。

今後も、市営住宅については、安全性を確保しながら効率的な維持管理を行うこととする。

上水道については、安全な水を安定して供給するため、老朽化した配水管の改良事業を実施し、赤水の解消に努め、有収率向上と耐震化を進めた。

今後も、安全で安定した飲料水の供給を維持するため、老朽配水管の改良と浄水場の整備を進めることとする。

下水道については、石狩川流域下水道中部処理区事業を引き続き実施するとともに、東明・茶志内・峰延地区の汚水整備を実施し、汚水処理区域の拡大と水洗化の促進に努めた。

なお、普及率は75.2%、水洗化率は96.0%となる。

また、下水道処理区域外(農村地区など)における個別排水処理施設の計画的な設置に努めた。

今後も、東明地区、峰延地区、茶志内地区、光珠内地区の未整備地区を計画的に整備を進め、普及率の向上を図ることとする。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
249	都市計画一般管理事務	都市計画課	2,846	見直し	方法の工夫・改善
251	土地区画整理事業用地取得事業	都市計画課	94,200	現状維持	債務負担行為
252	土木一般管理事務	都市計画課	2,076	見直し	方法の工夫・改善
253	道路台帳更新事務	都市計画課	3,623	現状維持	現行の内容が最適
254	道路用地取得事業	都市計画課	3,403	現状維持	債務負担行為
256	都市計画街路整備事業	都市整備課	27,829	見直し	拡充
257	道路新設改良事業	都市整備課	137,209	見直し	拡充
259	道路維持管理事業	都市整備課	101,694	見直し	拡充
260	橋りょう維持管理事業	都市整備課	2,321	見直し	拡充
263	除排雪事業	都市整備課	442,344	見直し	方法の工夫・改善
264	中心市街地除排雪事業	都市整備課	19,325	現状維持	現行の内容が最適
265	街路灯補助事業	都市整備課	8,878	見直し	拡充

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
266	交通安全施設整備事業	都市整備課	3,413	見直し	拡充
267	橋りょう新設改良事業	都市整備課	15,429	見直し	拡充
269	河川整備事業	都市整備課	17,337	見直し	拡充
270	河川維持管理事業	都市整備課	7,546	見直し	拡充
272	市営住宅用途廃止事業	建築住宅課	14,319	現状維持	現行の内容が最適
273	市営住宅維持管理事業	建築住宅課	35,561	見直し	方法の工夫・改善
274	道営住宅維持管理事業	建築住宅課	10,606	終了	事業完了
275	公営住宅改善事業	建築住宅課	38,320	現状維持	現行の内容が最適
276	住宅改修促進助成事業	建築住宅課	8,273	現状維持	現行の内容が最適
278	建築指導事務	建築住宅課	239	見直し	方法の工夫・改善
279	水道事業	水道課	763,355	見直し	方法の工夫・改善
280	上水道増補改良事業	水道課	210,850	見直し	方法の工夫・改善
281	浄水場施設改良事業	水道課	4,032	終了	事業完了
282	工業用水道事業	水道課	49,930	見直し	方法の工夫・改善
283	汚水整備事業	下水道課	254,163	見直し	方法の工夫・改善
285	個別排水処理施設整備事業	下水道課	24,029	現状維持	現行の内容が最適
286	個別排水処理施設維持管理事業	下水道課	20,145	見直し	拡充
287	受益者負担金賦課徴収事務	下水道課	37,478	現状維持	現行の内容が最適
288	下水道使用料賦課徴収事務	下水道課	31,345	現状維持	現行の内容が最適
289	水洗便所普及促進事業	下水道課	4,412	現状維持	現行の内容が最適
290	下水道管渠維持管理事業	下水道課	36,945	見直し	拡充
291	石狩川流域下水道組合事業	下水道課	49,426	現状維持	現行の内容が最適
292	石狩川流域下水道整備事業	下水道課	16,693	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	15	都市機能の満足度	まちづくり市民アンケート	JR美唄駅を中心とした道路や公共交通、公園の配置など、都市機能全体についてどのように感じていますか。 1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満 1~3の回答者数/全回答者数
関連指標	31	道路舗装率	業務取得	舗装済市道延長/市道延長
	32	道路除排雪の満足度	まちづくり市民アンケート	道路除排雪の状況について、どのように感じていますか。 1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. 普通 4. どちらかといえば不満 5. 不満 1~3の回答者数/全回答者数
	33	下水道普及率	業務取得	処理区域内人口/年度末住民基本台帳人口

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	[5] うるおいづくり
施策	(16) 景観・緑づくり

【 主管課及び関係課 】

主管課：都市整備課

関係課：農政課

【 施策の目指すべき姿 】

◎景観づくりの活動が広がっている

花や緑にあふれたうるおいのある景観を楽しむことができるように、市民との協働で景観づくりが進んでいます。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 景観づくり

公園を適切に維持管理するとともに、公園施設の点検による修繕や更新等のほか、景観の向上や緑づくりに向けた活動を市民と市との協働で取り組む。

2 森林の保全と活用

森林の役割について広く理解されるよう、森林を活用して市民が学ぶことができる場をつくるとともに、森林の適正管理を進め、森林の面積を維持していく。

また、地球温暖化防止に向けた企業の環境貢献活動として、植樹運動が広がりを見せていることから、CO2吸収能力が高い樹種の育成・普及に取り組む団体等と連携・協力し、運動の促進を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	16	コミュニティガーデン数	地域が主体となった景観づくりの実践状況を町内会等で管理する花壇の数から見る指標	10箇所	3箇所	4箇所	6箇所	60.0%
関連指標	34	公園・緑地の利用率	公園・緑地の適正管理の状況を利用率から見る指標	 H20より高める 44.3%	40.1%	45.8%	44.4%	+0.1 ポイント
	35	森林面積	森林面積が維持されている状況を見る指標	12,265ha	12,279ha	12,279ha	12,279ha	100.1%

【 施策の達成（進捗）状況 】

平成23年度から実施しているコミュニティガーデンの設置(地域の花壇づくり)に対する支援については、平成25年度は、市内6団体(4町内会・2法人)で植樹帯への花の植え付けが行われた。

市民の方々への活動紹介として広報紙メロディや市ホームページでの情報発信、市役所(1階ロビー)、ふれあいサロン(コアビバイ内)でのパネル展示や市民見学会などにより紹介を行った。

今後も景観づくりに対する意識の向上及び積極的な制度等のPRを行い、コミュニティガーデンの拡大を図る。

公園・緑地については、利用率は目標値を達成しているが、老朽化が進む公園施設の再整備が必要となっている。平成25年度は、市内20施設の遊具等設備の点検結果に基づき一部遊具等の再整備を実施した。今後も計画的に公園施設の再整備を行うことで公園・緑地の利用率向上を図る。

森林については、国・道と連携して森林所有者に対し植林や適正管理に関する情報提供や支援を行っている。また、一般の方々にも森林の役割について広く理解していただけるよう、市内の国有防風林を活用し、小学生や保護者を対象とした森林体験学習会を実施している。今後もこれらの取組を通じて、森林の保全とその必要性に関する意識の向上を図っていく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
294	公園維持管理事業	都市整備課	36,981	見直し	拡充
296	公園施設等再整備事業	都市整備課	3,885	現状維持	現行の内容が最適
298	緑化管理推進事業	都市整備課	7,979	見直し	拡充
299	コミュニティガーデン整備事業	都市整備課	133	見直し	拡充
300	林業振興一般管理事務	農政課	962	見直し	拡充
301	防風林維持管理事業	農政課	2,679	見直し	方法の工夫・改善
302	そらち森林組合補助事業	農政課	1,040	現状維持	法令等の定めあり
304	未来につなぐ森づくり推進事業	農政課	1,130	現状維持	現行の内容が最適
306	市有林保育管理事業	農政課	1,031	見直し	拡充
307	分取造林受託事業	農政課	9,288	現状維持	法令等の定めあり

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	16	コミュニティガーデン数	業務取得	町内会等で維持管理する花壇の数
関連指標	34	公園・緑地の利用率	まちづくり市民アンケート	市内の公園や緑地をどれくらい利用していますか。 1.よく利用する(週に数回程度) 2.ときどき利用する(月に数回程度) 3.たまに利用する(年に数回程度) 4.ほとんど利用しない 1~3の回答者数/全回答者数
	35	森林面積	業務取得	市内の国有林・道有林・市有林・民有林面積の合計

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	[6] 健康づくり
施策	(17) 保健

【 主管課及び関係課 】

主管課：健康推進課

関係課：市民課

【 施策の目指すべき姿 】

◎市民主体の健康づくりが行われている

市民一人ひとりが心身の状態に合わせて、安心してこころ豊かな生活を送ることができるよう、健康を意識した生活習慣が身につく。また、地域全体による積極的な健康づくりが行われるなど、市民が主役となって、健康の意識を高めあえる健康なまちになっていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 ライフステージに応じた健康づくり

ライフステージに応じた健康な生活を送ることができるよう、各ライフステージに生じやすい健康や生活の潜在化している問題を把握し、問題を解決していくために、健診や家庭訪問・健康相談を総合的に行い、きめ細かな支援を行う。また、市民が自らの健康に関心を持ち、良好な食生活や運動習慣を身に付け、休息やストレスとも上手に付き合い、一人ひとりの健康や生活の状況に応じたこころと身体の健康づくりを進めることができるよう、必要な情報を提供していく。

2 地域主体の健康づくり

小学校区単位で取り組んできた健康づくり組織等との協働による活動を広く周知しながら、地域ごとの課題に応じた食や運動、こころの健康づくりなどの取組を通じて、一人ひとりの健康づくりに結びつけるとともに、地域の継続的で広がりのある活動にしていく

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	17	自分が健康だと思う市民の割合	健康づくりの取組により自分が健康だと思う市民がどの程度いるのかを見る指標	80.0%	67.8%	66.0%	64.8%	81.0%
関連指標	36	地域主体で健康づくりが推進されている小学校区数	健康づくりを支えるための環境を地域主体で実践活動が行われている小学校区数で見る指標	目標値は設定しません	6校区	6校区	4校区	
	37	健康づくりを行っている市民の割合	健康への関心が高まり、健康づくりを実践している市民の割合を見る指標	75.0%	70.7%	66.3%	62.6%	83.5%
	38	1年間で健診を受診した市民の割合	健康管理に対する意識の高まりを定期的に健診を受けている市民の割合から見る指標	70.0%	68.0%	67.9%	72.7%	103.9%

【 施策の達成（進捗）状況 】

健康づくりについては、小学校区単位において地域で支える取組を支援してきた。上・西美唄地区健康祭りについては、小学校の閉校に伴い、継続困難と実行委員会で決定されたものの、これまでの9年間の活動は、地域に大きな効果をもたらしており、健康観や健診受診率の高さから目的は果たしてきたと評価できる。今後も地域のつながりを大切にしながら地域とともに検討していく必要がある。

そのほか、親子の健やかな成長への支援や青壮年期の生活習慣病予防、高齢期の生活機能低下予防など、ライフステージに応じた健康づくりも進めている。

今後については、引き続きこれまでの地域主体の健康づくりに取り組んでいくほか、食や運動を通じた健康づくりに取り組む機会の醸成やライフステージに応じた健康づくりを充実させるため、必要な情報提供に努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
309	保健衛生管理事務	健康推進課	1,640	見直し	方法の工夫・改善
310	保健センター管理運営事務	健康推進課	10,467	現状維持	現行の内容が最適
311	食の健康づくり事業	健康推進課	90	見直し	方法の工夫・改善
312	妊産婦健康増進事業	健康推進課	9,045	見直し	方法の工夫・改善
313	高齢者健康づくり事業	健康推進課	854	見直し	方法の工夫・改善
314	高齢者健康増進事業	健康推進課	566	見直し	方法の工夫・改善
315	子宮頸がん等ワクチン接種事業	健康推進課	11,051	終了	廃止
317	健康づくり啓発事業	健康推進課	261	見直し	方法の工夫・改善
318	健康づくり組織活動推進事業	健康推進課	1,431	見直し	方法の工夫・改善
319	中高年健康づくり事業	健康推進課	458	見直し	方法の工夫・改善
320	中高年疾病予防事業	健康推進課	17,130	見直し	拡充
321	機能回復訓練事業	健康推進課	38	見直し	方法の工夫・改善
322	エキノコックス症予防事業	健康推進課	132	見直し	方法の工夫・改善
323	定期予防接種事業	健康推進課	7,539	見直し	方法の工夫・改善
324	インフルエンザ対策事業	健康推進課	6,116	見直し	方法の工夫・改善
325	ひとり親家庭等医療費助成事業	市民課	15,020	現状維持	現行の内容が最適
326	重度心身障がい者医療費助成事業	市民課	92,282	現状維持	現行の内容が最適
329	国民健康保険事業	市民課	3,697,252	見直し	方法の工夫・改善
499	保育所フッ化物洗口推進事業	こども未来課	231	現状維持	現行の内容が最適
536	幼小フッ化物洗口推進事業	学務課	506	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	17	自分が健康だと思う市民の割合	まちづくり市民アンケート	自分が健康だと思いますか。 1.健康だと思う 2.どちらかといえば健康だと思う 3.どちらかといえば健康ではないと思う 4.健康ではないと思う $1 \cdot 2$ の回答者数/全回答者数
関連指標	36	地域主体で健康づくりが推進されている小学校区数	業務取得	地域主体で健康づくりが推進されている小学校区の数
	37	健康づくりを行っている市民の割合	まちづくり市民アンケート	健康づくりのために取り組んでいることはありますか。 1.睡眠で十分な休養をとる 2.たばこを吸わない 3.たばこの煙の影響を受けないようにする 4.適正な体重を維持する 5.適量を守って飲酒する 6.週2回は自分なりに心地よくからだを動かす 7.栄養のバランスを考えた食事をする 8.塩分をひかえる 9.ストレスと上手に付き合うようにする 10.年1回歯科検診を受ける 11.その他() 12.特に取り組んでいない 1から11のうち、3つ以上取り組んでいる回答者数/全回答者数
	38	1年間で健診を受診した市民の割合	まちづくり市民アンケート	この1年間に健康診断を受けましたか。 1.職場主催の健康診断を受診 2.農協組合員向けの人間ドックを受診 3.市(保健センター)主催の健康診断を受診 4.個人で医療機関に行き健康診断を受診 5.その他() 6.健康診断は受けていない 1~5の回答者数/全回答者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	[6] 健康づくり
施策	(18) 地域医療

【 主管課及び関係課 】

主管課：地域医療担当

関係課：健康推進課・市立美唄病院

【 施策の目指すべき姿 】

◎安心して医療を受けられる体制ができている

医師の確保や救急搬送、救急医療体制の維持、市内医療機関との連携により、市民が安心して必要な医療サービスを受けられる地域医療体制ができている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 市内の医療体制

市民が安心して医療サービスを受けられるよう、市立美唄病院と市内医療機関との相互連携のもと、1～1.5次医療の提供を行うとともに、2次医療圏における拠点病院との連携を図りながら、高度で専門的な医療を受けられるよう、市内医療体制を整備する。

2 市立美唄病院

市民の健康を守り、信頼される病院として、地域の中核病院の役割を担うため、内科医をはじめとする医師の確保を図り、安定的な医療体制の構築と経営健全化の推進に努める。

救急医療については、引き続き、医師会と緊密な連携を図り、市内で唯一の救急告示病院として救急医療を担っていく。また、市内他医療機関の動向を見極めつつ、市立病院の事業規模や経営形態等について、平成25年度までに一定の結論が得られるよう検討を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	18	人口10万人当たり医師数	市内の医師数を他市町村と比較するため、人口10万人当りに換算した指標	推移を見る指標なので目標値は設定しません	(H22) 176.7人	(H22) 176.7人	(H24) 169.8人	/
	39	人口10万人当たり病床数	市内の病床数を他市町村と比較するため、人口10万人当りに換算した指標	推移を見る指標なので目標値は設定しません	(H22) 2,577.4床	(H22) 2,577.4床	(H24) 1,766.4床	
関連指標	40	市立美唄病院病床利用率	市立美唄病院の病床の稼働率を見る指標	76.6%	68.4%	68.9%	70.3%	△6.3 ポイント
	41	市立美唄病院経常収支比率	市立美唄病院の経常収益と経常費用を対比した指標	107.1%	102.6%	101.7%	97.5%	△9.6 ポイント

【 施策の達成（進捗）状況 】

市内の医療体制については、「地域医療提供体制ビジョン」を踏まえ、本市の地域医療を再構築するための行動計画として平成26年3月に「地域医療再構築プラン」を策定した。

今後は、再構築プランを着実に実施・実現していくため、地域医療庁内推進会議が実施状況の進捗管理を行い、必要に応じて実施項目を修正・変更しながらプランを推進していく。

市立病院については、経営の健全化を図るため、「市立美唄病院改革プラン」及び「市立美唄病院経営健全化計画」を推進するとともに、医師会の協力を得て救急医療体制の維持継続に努めた。

また、医療機器の更新などその整備を行ったほか、医師を確保することにより診療体制の維持に努めた。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
330	地域医療確立対策事業	地域医療担当	1,133	現状維持	現行の内容が最適
331	救急医療啓発普及事業	健康推進課	4,531	現状維持	現行の内容が最適
332	市立美唄病院事業	市立美唄病院	528,626	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	18	人口10万人当たり医師数	北海道保健統計年報	北海道保健統計年報の数値 ※統計調査は2年に1度実施され、集計結果は調査実施年の2年後に公表される (調査実施年：H22、H24、H26 数値公表年：H24、H26、H28)
関連指標	39	人口10万人当たり病床数	北海道保健統計年報	北海道保健統計年報の数値 ※統計調査は2年に1度実施され、集計結果は調査実施年の2年後に公表される (調査実施年：H22、H24、H26 数値公表年：H24、H26、H28)
	40	市立美唄病院病床利用率	業務取得	年間延べ入院患者数／年間延べ病床数
	41	市立美唄病院経常収支比率	業務取得	経常収益／経常費用

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	[7] 福祉のまちづくり
施策	(19) 障がい者福祉

【 主管課及び関係課 】

主管課：地域福祉課

【 施策の目指すべき姿 】

◎障がい者が暮らしやすい環境になっている

障がい者の方が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために必要なサービスや支援が提供される環境が整うなど、心のバリアフリーを含めたノーマライゼーション社会ができています。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 障がい者福祉サービス

障がいの有無にかかわらず、誰もがお互いの人格と個性を尊重し、ささえあうノーマライゼーション社会の実現を目指し、障がい者が暮らしやすい環境づくりに向けて、日常生活用具等の給付をはじめ、手話通訳者の派遣や福祉タクシーの助成による移動の支援など、各種自立支援策を推進する。

2 障がい者の地域での生活

総合的な相談体制を充実させるとともに、グループホームなど地域での生活を支援し、ハローワークや企業との連携を強化して就労機会の確保に努める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	19	地域で生活できている障がい者の割合	障がい者の自立に向けた取組の成果を地域で生活できている障がい者の割合で見る指標	96.5%	96.3%	96.2%	96.2%	99.7%
関連指標	42	在宅福祉サービスの満足度	在宅福祉サービスの充足度を対象者のサービス満足度から見る指標 ※3年毎の認定更新時(H24、H27)にアンケート調査実施	80.0%		90.0%		112.5%
	43	入所待機障がい者数	施設サービスの充足度を入所待機者数から見る指標	0人	4人	4人	4人	4人超過
	44	就労に関する障がい者相談年間件数(うち就労件数)	障がい者の自立状況を障がい者相談支援事業での就労に関する相談件数とそのうち実際に就労に結びついた件数から見る指標	H20より増やす 相談件数 17件 (うち就労件数 0件)	相談件数 9件 うち 就労件数 5件	相談件数 8件 うち 就労件数 6件	相談件数 8件 うち 就労件数 1件	相談件数 △ 9件 うち 就労件数 +1件

【 施策の達成（進捗）状況 】

住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために必要なサービスや支援を提供し、障がい者が暮らしやすい環境づくりを充実するため、「美唄市福祉有償運送運営協議会」を平成23年度に設立し、福祉有償運送を開始したほか、美唄市障がい者プラン(第3期計画)を策定し、計画に沿った各種支援・給付事業等の充実に努めている。

成果指標については、今後とも継続して各種取組の充実により進捗度を高めていく。

地域で生活できている障がい者の割合については、障がい者の高齢化等による重度化により、施設入所が必要となる方も増えてきているため、現状維持が続くものとみられる。

また、入所待機障がい者数については、本人の病気の回復や施設の入所定員などもあり、市の施策推進だけでは難しい内容ではあるが、関係機関等との連携を進めていく。

障がい者の就労支援については、平成25年4月1日に施行された国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律(障害者優先調達推進法)の規定に基づき、本市においても調達方針を定め公表している。就労に関する障がい者相談年間件数については、相談支援事業による把握では、相談延件数は31件となっており、うち求職による実相談人員は8人、そのうち一般就労に1人が結びついたが継続ならず、ハローワークや企業と連携を取りながら就労機会の確保と継続就労に努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
333	手話通訳者設置・派遣事業	地域福祉課	4,044	現状維持	現行の内容が最適
334	障がい者スポーツ大会参加補助事業	地域福祉課	110	現状維持	現行の内容が最適
335	障がい者居宅介護等事業	地域福祉課	22,345	現状維持	法令等の定めあり
336	障がい者在宅支援事業	地域福祉課	1,377	現状維持	現行の内容が最適
337	障がい者在宅福祉一般管理事務	地域福祉課	4,407	現状維持	現行の内容が最適
338	障がい者相談支援事業	地域福祉課	9,800	現状維持	現行の内容が最適
339	障がい者福祉一般管理事務	地域福祉課	417	現状維持	現行の内容が最適
340	障がい者グループホーム等支援事業	地域福祉課	111,976	現状維持	法令等の定めあり
341	障がい者移動支援等事業	地域福祉課	2,840	現状維持	法令等の定めあり
342	特別障がい者手当等支給事業	地域福祉課	8,925	現状維持	法令等の定めあり
343	日常生活用具等給付事業	地域福祉課	9,186	現状維持	法令等の定めあり
344	補装具給付事業	地域福祉課	8,508	現状維持	現行の内容が最適
345	特定疾患患者等支援事業	地域福祉課	280	現状維持	現行の内容が最適
346	更生医療給付事業	地域福祉課	20,876	現状維持	法令等の定めあり
347	精神障がい者地域生活支援事業	地域福祉課	159	現状維持	現行の内容が最適
348	恵愛団地集会所管理運営事業	地域福祉課	138	現状維持	現行の内容が最適
349	施設利用支援事業	地域福祉課	587,809	現状維持	法令等の定めあり

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	19	地域で生活できている障がい者の割合	業務取得	$(\text{市内障がい者数} - \text{施設入所者数} - \text{長期入院者数}) / \text{市内障がい者数}$
関連指標	42	在宅福祉サービスの満足度	担当課アンケート	在宅福祉サービスに満足している障がい者数 / 在宅福祉サービスを受けている障がい者数 ※アンケート調査は3年毎の認定更新時(H24、H27)に実施
	43	入所待機障がい者数	業務取得	入所待機障がい者数
	44	就労に関する障がい者相談年間件数(うち就労件数)	業務取得	障がい者相談支援事業における就労に関する相談年間件数(実際に就労に結びついた件数)

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	[7] 福祉のまちづくり
施策	(20) 高齢者福祉

【 主管課及び関係課 】

主管課：高齢福祉課

関係課：恵風園・恵祥園

【 施策の目指すべき姿 】

◎高齢者が安心して生活できる

高齢者が住みなれた地域でいつまでも健康で安心して生活でき、介護が必要になってもその人に合ったサービスを利用して、自分らしく生活できる環境ができる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 高齢者の総合的な生活支援

高齢者が健康でいきいきと生活できるよう、元気なうちから介護予防に取り組み、健康で自立した生活が続けられるよう支援する。

また、支援や介護が必要な状態になっても地域で安心して暮らし続けられるよう、各種サービスの充実を図るとともに、地域包括支援センターを中心に地域全体で支える包括ケア体制を継続する。

2 生きがいつくり

豊富な経験と知識を持つ高齢者が地域づくりに主体的に取り組むなど、積極的に社会参加できる環境づくりやシルバー人材センター等での就労の確保に努めるとともに、世代間交流をはじめ、生涯学習や生涯スポーツなど、多様な社会活動参加を促進する。

3 社会保障制度の運用

介護保険制度など、各種の社会保障制度については、利用者が安心できる的確な運用を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したものの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	20	自立高齢者数	保健や介護予防の取組により要介護者がどの程度抑えられているかを見る指標	85.0%	81.8%	81.1%	81.3%	95.6%
関連指標	45	生きがいを持っている高齢者の割合	自立と生きがいつくりを進めることにより、どの程度の高齢者が生きがいをもって暮らしているかを見る指標	75.0%	68.6%	77.3%	75.2%	100.3%
	46	シルバー人材センター登録者数	高齢者の社会参加の状況をシルバー人材センター登録者数から見る指標	260人	232人	217人	216人	83.1%

【 施策の達成（進捗）状況 】

介護予防に関する出前講座・貯筋体操自主グループの支援、口腔機能教室など高齢者が健康で自立した生活を続けられる取組を実施のほか、在宅生活を支えるため、地域包括支援センターを核とした総合相談・支援業務、虐待防止、権利擁護など様々な相談や助言を行った。

さらに認知症高齢者やひとり暮らし高齢者が増加する近年、誰もが住み慣れた地域で安心して生活ができるまちづくりを目指し、市民後見人養成・活用事業を実施して今後の普及・開発を図った。

豊富な経験と知識を持った高齢者がシルバー人材センターに登録し、積極的な就労により社会参加を図るほか、老人クラブにおいては世代間交流や生涯スポーツなど活動促進を行った。今後においても高齢者が生きがいを持って社会参加ができる環境づくりの支援を行っていく。

昨年度に引き続き、介護保険制度、国民健康保険、後期高齢者医療各会計の決算状況をまとめ、市内数か所に配置した。今後も利用者が安心できる制度運用に努める。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
					事務事業の今後の方向性
351	食事サービス事業(介護予防事業分)	高齢福祉課	4,967	現状維持	現行の内容が最適
352	二次予防事業	高齢福祉課	28,898	現状維持	現行の内容が最適
353	一次予防事業	高齢福祉課	3,095	見直し	拡充
354	生活支援短期宿泊事業	高齢福祉課	179	現状維持	現行の内容が最適
355	介護予防マネジメント事業	高齢福祉課	23,689	見直し	拡充
356	食事サービス事業(任意事業分)	高齢福祉課	14,280	見直し	方法の工夫・改善
357	高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業	高齢福祉課	5,106	現状維持	現行の内容が最適
358	家族介護用品支給事業	高齢福祉課	504	見直し	方法の工夫・改善
359	家族介護者交流事業	高齢福祉課	282	見直し	方法の工夫・改善
360	認知症高齢者やすらぎ支援訪問員派遣事業	高齢福祉課	240	現状維持	現行の内容が最適
361	介護給付適正化事業	高齢福祉課	296	現状維持	法令等の定めあり
362	老人福祉施設入所措置事業	高齢福祉課	120,544	現状維持	現行の内容が最適
363	老人クラブ連合会運営補助事業	高齢福祉課	1,500	現状維持	現行の内容が最適
364	単位老人クラブ運営費等補助事業	高齢福祉課	1,532	現状維持	現行の内容が最適
365	福祉スポーツ大会事業	高齢福祉課	635	現状維持	現行の内容が最適
366	外国人高齢者福祉給付金支給事業	高齢福祉課	540	現状維持	法令等の定めあり
367	老人福祉一般管理事務	高齢福祉課	87	現状維持	現行の内容が最適
368	緊急通報システム管理運営事業	高齢福祉課	533	現状維持	現行の内容が最適
370	福祉除雪事業	高齢福祉課	789	現状維持	現行の内容が最適
371	間口除雪事業	高齢福祉課	9,519	見直し	拡充
372	福祉灯油事業	高齢福祉課	1,335	現状維持	現行の内容が最適
373	移送サービス事業	高齢福祉課	1,117	現状維持	現行の内容が最適
374	地域包括支援センター運営事業	高齢福祉課	8,287	現状維持	現行の内容が最適
375	社会福祉法人等利用者負担軽減事業	高齢福祉課	520	現状維持	法令等の定めあり
376	介護保険給付事業	高齢福祉課	2,409,169	現状維持	法令等の定めあり
377	介護保険事業	高齢福祉課	68,837	現状維持	法令等の定めあり
378	介護サービス事業	恵祥園	203,939	見直し	方法の工夫・改善
379	恵風園生活事務	恵風園	50,844	見直し	方法の工夫・改善

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
380	恵風園管理事務	恵風園	22,744	見直し	方法の工夫・改善
381	恵風園整備事業	恵風園	940	見直し	方法の工夫・改善
382	恵祥園整備事業	恵祥園	940	見直し	方法の工夫・改善
383	応急生活資金貸付事業	地域福祉課	3,000	現状維持	現行の内容が最適
384	社会福祉一般管理事務	地域福祉課	275	現状維持	現行の内容が最適
385	後期高齢者医療事業	市民課	753,016	現状維持	法令等の定めあり
386	生活保護事務	地域福祉課	13,566	現状維持	現行の内容が最適
387	生活保護扶助事業	地域福祉課	1,204,223	現状維持	法令等の定めあり
501	介護基盤緊急整備等補助事業	高齢福祉課	142,680	終了	事業完了
537	市民後見人等養成・活用事業	高齢福祉課	1,250	見直し	拡充
550	地域包括支援システム改修事業	高齢福祉課	2,059	終了	事業完了

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果 指標	20	自立高齢者数	業務取得	65歳以上の市民のうち要支援・要介護認定を受けていない市民の割合
関連 指標	45	生きがいを持っている高齢者の割合	まちづくり 市民アンケート	いま生きがいをもって暮らしていますか。 1. はい 2. いいえ 65歳以上の1の回答者数/65歳以上の回答者数
	46	シルバー人材センター登録者数	業務取得	シルバー人材センターに登録している高齢者の人数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	5 安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	[8] 安全づくり
施策	(21) 防災・防犯・交通安全

【 主管課及び関係課 】

主管課：危機管理対策室

関係課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎災害などの被害を最小限にする体制ができている

地域が一体となって、防災活動や防犯活動、交通安全活動を行うことで、安全で安心な地域が実現している。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 防災

総合的な防災体制の強化や耐震化への対応とともに、自主防災組織の組織化を進め、防災訓練の実施や防災意識の向上により、災害に強い安全で安心な地域づくりを進める。

2 防犯

地域の防犯力を高める上で大きな役割を果たす自主防犯組織の設立を進め、防犯パトロールを地域的に広げ、犯罪者等が近寄らないまちづくりを進める。

3 交通安全

幼稚園児、小学校低学年等を対象とした青空教室や、小学校中学年を対象とした交通公園等での自転車教室、老人クラブ等を対象とした高齢者交通安全教室開催を通じ、交通事故の被害者となりやすい各世代に対し、交通安全の重要性を伝えていく。

また、安全運転、シートベルトの着用、飲酒運転の追放などに関して、重点的な啓発活動を実施するとともに、警察署と連携した交通事故防止に関する情報提供を行う。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	21	自主防災組織率	自主的な防災活動の取組がどの程度広がっているか見る指標	25.0%	8.2%	10.5%	14.0%	56.0%
関連指標	47	自主防犯組織数	地域の防犯体制の状況を自主防犯組織(パトロール隊)が設立された件数で見る指標	22組織	16組織	18組織	18組織	81.8%
	48	年間刑法犯認知件数	市内の犯罪発生状況を見る指標	H20より減らす 202件	107件	127件	148件	△ 54件
	49	年間交通事故発生件数	交通安全の取組の成果を交通事故発生件数で見る指標	0件	39件	55件	31件	31件 超過

【 施策の達成（進捗）状況 】

防災については、地域防災計画に基づく防災訓練の実施や自主防災組織の育成を図ったほか、災害時の被害想定区域や危険箇所、避難所位置など必要な情報を提供できる「防災ガイドマップ」の作成や災害時の被害を最小化する「減災」の考えを防災の基本方針として地域防災計画の見直しを行うなど、防災・災害対策の充実に努めた。

引き続き、非常用食糧品や災害備蓄用毛布、発電機、ストーブなどの災害用備蓄品等の整備を計画的に進めるとともに、自主防災組織の防災訓練に対する支援などを通じて、自主防災組織の組織化を推進し、災害に強い安全で安心な地域づくりを進めていく。

防犯については、年間刑法犯認知件数は平成20年度より減少してきているものの、平成23年度以降平成25年度においても増加してきていることから、引き続き警察署や防犯協会等関係団体と協力して街頭啓発や地域安全大会などを行い、犯罪の未然防止に努めていく。

また、地域ぐるみで防犯の輪を広げ、身近な犯罪を防止していくことが必要なことから、地域の方々による新たな自主防犯組織の設立を推奨・支援していく。

交通安全については、平成25年度では北海道の事故件数の減少にあわせて、美唄市でも昨年の55件に対して31件と大幅な減少となったが、昨年と同様に1件の死亡事故が発生してしまったことから、引き続き警察署や交通安全協会等関係団体と協力して街頭啓発などを行うとともに、幼児や小学生、高齢者などの特に交通事故の被害者となりやすい世代を中心に交通安全教室を実施し、交通事故の未然防止に努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
388	地域防災事業	危機管理対策室	3,667	現状維持	現行の内容が最適
390	地域安全活動補助事業	生活環境課	375	現状維持	現行の内容が最適
391	交通安全3ゼロ運動推進補助事業	生活環境課	918	現状維持	現行の内容が最適
392	交通安全対策事業	生活環境課	1,268	現状維持	現行の内容が最適
393	市民生活支援事務	生活環境課	656	現状維持	現行の内容が最適
394	遺家族等援護事務	生活環境課	238	現状維持	現行の内容が最適
504	防災資機材等整備事業	危機管理対策室	4,538	現状維持	現行の内容が最適
538	防災ガイドマップ作成事業	危機管理対策室	2,051	終了	事業完了

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	21	自主防災組織率	業務取得	自主防災組織加入世帯数／全世帯数
関連指標	47	自主防犯組織数	業務取得	自主防犯組織数
	48	年間刑法犯認知件数	業務取得	美唄警察署公表の刑法犯認知件数
	49	年間交通事故発生件数	業務取得	美唄警察署公表の人身交通事故発生件数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	5 安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	[8] 安全づくり
施策	(22) 消防

【 主管課及び関係課 】

主管課：消防本部

【 施策の目指すべき姿 】

◎市民の安全・安心を守る消防体制ができています
消防体制が維持され、火災予防の意識が普及し、救命処置を行う体制ができています。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 火災予防

火災を防ぎ、火災による被害を軽減するため、幼年消防クラブや婦人防火クラブをはじめ、事業所や一般家庭などに対する広報や啓発活動などを行い、火災予防意識の向上に取り組む。

2 救急業務

救急隊員の資質・技術の向上を図るとともに、医療機関との連携を強化し、迅速な救急搬送ができる体制づくりを進める。

また、AED(自動体外式除細動器)の操作など、市民への応急手当の知識・技術の普及を図り、市民との協働により救命効果を上げる取組を進める。

3 消防組織と装備

消防団員の確保、消防施設及び車両や消火栓の整備、消防通信指令施設の更新を行うとともに、消防救急無線のデジタル化への対応、消防の広域化への対応などを検討していく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	22	年間出火率	火災予防の取組によりどの程度火災の発生が抑えられているかを見る指標	6.4%	5.8%	6.0%	3.3%	△3.1 ポイント 負数は目標値達成
関連指標	50	住宅用火災警報器設置率	家庭での火災防止の対応状況を設置義務がある住宅用火災警報器の設置率で見る指標	100.0%	60.6%	76.3%	86.8%	86.8%

【 施策の達成(進捗)状況 】

火災予防について、住宅用火災警報器の設置率は年々向上しているが、今後も春秋の火災予防運動を中心に設置促進を実施し、設置率100%を目指して更なる普及啓発に努める。

救急業務について、市民への救急講習の開催など、普及啓発に努めた。また、年間1,000件を超える救急出動に備え、医療機関との連携強化を推進するとともに、救急業務の高度化のため救急救命士の特別教育等を実施する。

消防装備について、中央分団車の更新、消火栓の新設更新及び消防救急デジタル無線の電波伝搬調査を実施した。今後も老朽化の著しい車両の更新、消防活動に必要な消防水利の充実及び更新に努め、消防救急無線のデジタル化に対応するため、計画的に整備を実施する。また、消防の広域化についても検討を進めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
396	救急業務推進事業	消防本部	3,329	現状維持	現行の内容が最適
398	消防救急無線デジタル化整備事業	消防本部	1,050	現状維持	法令等の定めあり
399	消防施設管理事業	消防本部	3,859	現状維持	現行の内容が最適
400	消防車両管理事業	消防本部	6,003	現状維持	現行の内容が最適
401	消防水利管理事業	消防本部	4,459	現状維持	現行の内容が最適
402	消防水利整備事業	消防本部	2,746	現状維持	現行の内容が最適
403	消防車両整備事業	消防本部	35,872	現状維持	現行の内容が最適
405	常備消防事業	消防本部	19,993	現状維持	現行の内容が最適
406	消防団運営事業	消防本部	29,299	見直し	方法の工夫・改善
407	火災予防推進事業	消防本部	1,232	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	22	年間出火率	業務取得	人口1万人当たり火災件数 (年間出火件数/総人口×1万人)
関連指標	50	住宅用火災警報器設置率	業務取得	住宅用火災警報器設置率

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	5 安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	[9] 安心づくり
施策	(23) 消費者保護

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎消費者被害を未然に防ぐための体制が整っている

消費者被害を未然に防ぎ、安心して消費者生活を送ることができるよう、必要な消費者情報を提供し、相談に適切に対応することができる体制が整っている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

- 消費者保護体制の充実
 複雑・多様化する市民からの相談に対して、幅広い情報の収集や専門的知識に基づく情報の提供と適切な解決策の提示を行うことができるよう、各種研修への相談員の派遣により、相談員のスキルアップを図るとともに、関係機関と協力して対応し、迅速な解決を図る。
 また、消費生活センター(美唄消費者協会)を中心に、地域の安全・安心を守る様々な団体等と連携を図り、消費者の被害防止のためのネットワークづくりを進める。
- 消費者情報提供の充実
 全ての市民が安全な消費生活を送れるよう、市広報紙やホームページ等を通じてタイムリーな消費者情報を提供する。
 また、整備が進められている全国消費生活情報ネットワーク・システムの活用により、全国の消費者相談事例を参照し、より適切な対応や助言ができる体制を整える。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したものの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度(進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	23	消費者相談窓口を知っている市民の割合	消費者被害を未然に防止するために、市内の相談窓口(美唄消費者協会)をどの程度市民が知っているかを見る指標	60.0%	44.1%	48.6%	48.2%	80.3%
関連指標	51	年間消費者相談件数	消費者被害を未然に防止するための相談窓口をどの程度利用しているかを見る指標	100件	123件	107件	82件	/
	52	消費者生活展参加者数	消費者保護や商品情報等に対する関心がどの程度あるかを消費者生活展の参加者数で見える指標	250人	220人	160人	185人	

【 施策の達成(進捗)状況 】

消費者相談については、市の相談窓口である、美唄市消費者センター(美唄消費者協会)に毎年度100件程度の相談が寄せられていたが、平成25年度においては、82件と減少した。

これは、近年の各種メディアによる周知などにより、各自での防衛が図られているものと考えられる。しかしながら、個人で解決できないような複雑な案件も増えてきており、消費者センターの存在価値も高くなってきている。

今後も引き続き消費生活展やパネル展、講演会等を開催し、市広報紙の消費者情報コーナーなどにより市民へ情報提供を行っていくとともに、相談窓口の周知に努めることとする。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
408	消費者保護対策事業	生活環境課	1,633	現状維持	現行の内容が最適
409	法律相談事務	生活環境課	868	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	23	消費者相談窓口を知っている市民の割合	まちづくり市民アンケート	商品購入トラブルや訪問販売での困りごとなど、消費生活に関わる市内の相談窓口(美唄消費者協会)を知っていますか。 1. はい 2. いいえ 1の回答者数/全回答者数
関連指標	51	年間消費者相談件数	業務取得	消費者相談件数
	52	消費者生活展参加者数	業務取得	消費者生活展参加者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	5 安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	[9] 安心づくり
施策	(24) 雇用対策

【 主管課及び関係課 】

主管課：商工観光課

【 施策の目指すべき姿 】

◎安心して働ける職場環境がある

求職者一人ひとりが自分の特性と能力を活かして、就業でき、安心して働くことができる環境がつけられている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 就業環境

雇用の場をつくり出す農商工連携などによる産業振興や新産業の創出を進めるとともに、国や道などによる雇用対策に関連した助成制度の活用促進を図る。

就職に必要な職業技術や知識、経験を養うための美唄人材開発センター等での講習受講への紹介や受講者への助成をするほか、市内企業等の協力のもとに、就業意識の醸成や求人企業と求職者のニーズのミスマッチの解消を図るため、説明会の開催やインターンシップを推進する。また、北海道中央コンピュータ・カレッジでの情報処理技術者の養成を継続するほか、高齢者・障がい者雇用や仕事と家庭の両立支援など、企業が行う取組に関する国や道などの制度の周知・活用を図る。

2 働く環境

勤労者福祉を進めていくため、勤労者共済会への支援を行うとともに、労働相談の充実や技能講習等の受講者への助成を行う。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したものの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	24	職業紹介者の就職率	求人情報提供や職業紹介の成果を見る指標	33.3%	25.1%	32.6%	34.2%	102.7%
関連指標	53	美唄市ふるさとハローワーク日平均利用者数	求職者が美唄市ふるさとハローワークの求人情報をどの程度利用しているのを見る指標	推移を見る指標なので目標値は設定しません	55人	48人	38人	△ 32人
	54	技能講習等受講者数	就業のための技能習得状況を市が指定する研修機関で受講した人数で見る指標	 H20より増やす 59人	54人	36人	27人	

【 施策の達成（進捗）状況 】

「ふるさとハローワーク」での職業紹介者の就職率は34.2%と上昇し、目標値を達成しているものの、依然として求人側と求職者の雇用のミスマッチは改善しておらず、引き続き求職者が就職に結び付くよう、美唄地域人材開発センター等、職業訓練機関で実施する技能習得（玉掛、フォークリフト、溶接等）を通じて求職者のスキルアップを図るとともに、ハローワークなど関係機関と連携のもと、就職相談、求人情報の提供、国の雇用奨励制度などの活用をPRし雇用創出に努めていく。

また、若年者の就業支援や職場定着の促進を図るため、南空知地域雇用対策協議会（岩見沢市・美唄市・三笠市・月形町）が行う模擬面接等、各種就職セミナーなどを通じて、新規高校卒業者等の就職を促進していくとともに、美唄市季節労働者通年雇用促進協議会と連携し、季節労働者の通年雇用化を促進していくこととする。

勤労者にとって働きやすい環境を整えるため、勤労者の生活安定や福利厚生の実施を図るとともに、今後とも勤労者向けの融資制度や福祉共済の支援を継続するほか、職業能力開発講座や技能取得講座など、企業が行う人材育成・人材確保の取組を支援し、労働者の働く環境を整備していく必要がある。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
410	ふるさとハローワーク管理運営事業	商工観光課	2,295	現状維持	現行の内容が最適
411	地域人材開発センター運営事業	商工観光課	15,000	見直し	方法の工夫・改善
412	情報処理訓練校支援事業	三セク担当	136,000	見直し	方法の工夫・改善
413	情報処理訓練校振興助成事業	三セク担当	1,326	見直し	方法の工夫・改善
414	求職者等職業能力開発支援事業	商工観光課	854	見直し	方法の工夫・改善
416	季節労働者通年雇用促進支援事業	商工観光課	119	見直し	方法の工夫・改善
417	勤労者生活資金貸付事業	商工観光課	3,000	見直し	縮小
418	勤労者共済会補助事業	商工観光課	2,141	見直し	方法の工夫・改善
419	労働相談補助事業	商工観光課	75	現状維持	現行の内容が最適
426	シルバー人材センター補助事業	高齢福祉課	7,000	現状維持	現行の内容が最適
427	労働総務一般管理事務	商工観光課	3	現状維持	現行の内容が最適
515	学校施設等豪雪対策事業	生涯学習課	2,880	終了	事業完了
539	エコキャップを活用した環境にやさしい製品づくり事業	商工観光課	2,605	終了	事業完了
540	観光PR映像制作事業	商工観光課	6,622	終了	事業完了
541	小学校特別学習支援員配置事業	指導室	6,608	終了	事業完了
542	複式授業学習支援員配置事業	指導室	1,362	終了	事業完了
546	アルテピアッツァ美唄資料電子化整備事業	生涯学習課	2,856	終了	事業完了
547	地元特産品販売PR事業	商工観光課	2,921	終了	事業完了
549	環境に優しいフィルターリユース事業	産業振興課	3,469	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	24	職業紹介者の就職率	業務取得	美唄市ふるさとハローワークで職業紹介を受けた人のうち、実際に就職に結びついた人の割合
関連指標	53	美唄市ふるさとハローワーク日平均利用者数	業務取得	美唄市ふるさとハローワーク1日当たり利用者数
	54	技能講習等受講者数	業務取得	美唄人材開発センター、北海道中央コンピュータ・カレッジの技能講習を受講した人数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	5 安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	[9] 安心づくり
施策	(25) コミュニティ

【 主管課及び関係課 】

主管課：地域福祉課

関係課：企画課

【 施策の目指すべき姿 】

◎地域での活動が活性化する

相互にささえあいながら、活力ある地域づくりを自主的に行う活動が広がっている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 地域福祉の推進

市の地域福祉計画と社会福祉協議会の地域福祉実践計画に基づき、市民ささえあい推進委員会と市民、市、社会福祉協議会が連携し、それぞれの役割の中で地域と関わりながら、地域の状況に応じた取組を進める。

2 地域の活力づくり

自主的な活動をしている町内会や団体を支援するため、福祉のまちづくり事業補助金を活用し、活力ある地域づくりを進める。

また、市職員で構成する地域応援チームにより、町内会等の自主的な取組に対して、情報提供や助言などにより応援を行うとともに、市広報紙等での紹介や地域間の連携、様々な団体とのネットワークづくり、地域の活力づくりを担う人材の育成に努める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	25	地域活動に参加している市民の割合	コミュニティ活性化の取組がどの程度地域活動につながっているかを見る指標	 H20より高める 56.8%	65.8%	64.2%	65.2%	+8.4 ポイント
関連指標	55	町内会活動を必要と感じる市民の割合	地域活動が必要であるという意識の醸成を見る指標	 H20より高める 63.1%	77.0%	78.1%	77.4%	+14.3 ポイント
	56	保健福祉活動を行っている地区数	地域福祉の充実度を自主的又は市と協働で保健福祉活動を行っている地区数から見る指標	 H20より増やす 28地区	48地区	49地区	55地区	+27地区

【 施策の達成（進捗）状況 】

相互にささえあいながら、活力ある地域づくりを自主的に行う活動を広げるため、市地域福祉計画及び社会福祉協議会の地域福祉実践計画にもとづき、地域住民やボランティア団体、社会福祉協議会等が連携し、福祉のまちづくり補助金の活用や、地域福祉会館の活動拠点とした地域住民のささえあい・絆づくり活動に取り組んでいる。今後とも総合福祉センター、福祉会館整備による拠点施設の整備を図り、活動の場の環境改善に努め、社会福祉協議会との連携を図りながら地域住民の自主活動の活性化について支援していく。

地域応援チームの活動では、市の管理職員で構成する各地域の担当者が、町内会長等と連携を図り、ご自宅への訪問などを通して地域の事情や課題などを把握するとともに、市の情報提供や地域の活動などの情報を収集するなど、情報の共有を図るための活動を実施した。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
428	地域福祉ネットワーク事業	地域福祉課	441	現状維持	現行の内容が最適
429	地域福祉会館管理運営事業	地域福祉課	3,844	現状維持	現行の内容が最適
430	地域福祉会館整備事業	地域福祉課	4,095	現状維持	現行の内容が最適
431	社会福祉協議会運営補助事業	地域福祉課	18,706	現状維持	現行の内容が最適
433	民生児童委員活動事業	地域福祉課	6,804	現状維持	現行の内容が最適
511	総合福祉センター管理運営事業	地域福祉課	7,521	現状維持	現行の内容が最適
526	地域コミュニティ活性化支援事業	企画課	12,000	終了	事業完了

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	25	地域活動に参加している市民の割合	まちづくり市民アンケート	町内会・自治会の行事やあなたが暮らす地域の行事に参加していますか。 1.参加している 2.ときどき参加している 3.参加していない 1・2の回答者数/全回答者数
関連指標	55	町内会活動を必要と感じる市民の割合	まちづくり市民アンケート	町内会や自治会の活動は必要だと思いますか。 1.必要だと思う 2.必要とは思わない 1の回答者数/全回答者数
	56	保健福祉活動を行っている地区数	業務取得	市内各地域で保健福祉活動を自主的または市と協働で行っている地区数 (地域ささえあい懇談会、子供懇談会、地域福祉推進大会、まちづくり事業補助数、貯筋体操自主グループ数、びばいっ子フェスティバル、地域主体健康づくり事業団体数など)

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成25年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	6 みんなで力を合わせるまちづくり
施策の柱	[10] 地域経営の確立
施策	(26) 協働のまちづくり

【 主管課及び関係課 】

主管課：企画課

関係課：生涯学習課

【 施策の目指すべき姿 】

◎たくさんの人たちがまちづくりに積極的に参画している
意欲的にまちづくりに関わる人たちが増えていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 協働のしくみづくり

本市に住み、働き、学び、訪れる人びとや企業、各種団体、地域社会、行政などの組織など、まちづくりの多様な主体として役割分担を行い、情報の共有化、意思の疎通を図るとともに、協働のまちづくりを支える人材の育成と地域力の向上に向けた取組を進めていく。

2 新しい公共の創造

市民と市とのパートナーシップを強化し、それぞれが持つ資源やノウハウを活用し、防災・防犯や高齢者の見守りなど、様々な活動を展開し、「新しい公共」を創造することにより、市民サービスの向上や新たな事業機会の創出、社会的課題の解決に取り組んでいく。

3 地域主権の土台づくり

地域主権に対応可能な足腰の強い市役所づくりを進めるため、効率的で機動的な組織や人材の育成、行財政基盤の強化に取り組んでいく。また、将来にわたって必要な市民サービスなどを安定的・継続的に提供し、地域の活性化を図る上で、広域的な連携を進めていく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H23	H24	H25	
成果指標	26	まちづくり参画度	協働のまちづくりの成果として、市民がまちづくりにどの程度参画しているかを見る指標	20.0%	25.1%	24.5%	24.8%	124.0%
関連指標	57	美唄サテライト・キャンパス「まちづくりを担う人材養成講座」受講者数	協働のまちづくりを進める際に必要な人材育成のための講座への参加者数により協働のまちづくりの浸透度を見る指標	50人		81人	69人	138.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

協働のしくみづくりの成果を示す指標「まちづくり参画度」は、目標値を満たしており、様々な主体が参加する協働のまちづくりが広がりを見せ、定着しつつあるものとする。

今後も、市政に関わる様々な情報を積極的に発信して、市民との情報の共有を進めるとともに、地域応援チーム制度や美しきまちづくりサポーター制度などの取組を通じて、市民のまちづくりへの参画をさらに一層進めて行く。

協働のまちづくりを支える人材の育成については、市内の地域資源を活かしながら、札幌国際大学、札幌大学、札幌大谷大学等の協力をいただき、地元において専門教育や高等教育を受ける機会を提供することを目的として、平成24年度から実施している美唄サテライト・キャンパスにより人材の育成を図っていく。

市政を全市民的な視点で総合的に推進するため、市長・副市長・教育長をはじめ各部長職を構成員とする美唄市経営会議を平成23年11月に設置した。毎月の経営会議において、市全体の様々な動きや市民要望などを把握し、各部局の情報の共有化を図り、地域の課題に迅速に対応できるよう努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

Index No	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H25決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
435	情報公開・個人情報保護制度運営事務	企画課	34	現状維持	現行の内容が最適
436	広報事務	企画課	10,654	現状維持	現行の内容が最適
438	広聴事務	企画課	134	現状維持	現行の内容が最適
441	事務事業評価システム推進事業	企画課	124	見直し	方法の工夫・改善
442	企画一般事務	企画課	730	見直し	方法の工夫・改善
496	美唄サテライト・キャンパス事業	企画課	50	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	26	まちづくり参画度	まちづくり市民アンケート	何かのかたちでまちづくりに参加していますか。 1.積極的に参加している 2.参加している 3.どちらともいえない 4.参加していない方である 5.参加していない 1・2の回答者数/全回答者数
関連指標	57	美唄サテライト・キャンパス「まちづくりを担う人材養成講座」受講者数	業務取得	美唄サテライト・キャンパス「まちづくりを担う人材養成講座」延べ受講者数

びばい未来交響プラン「まちづくり成果指標」一覧

施策とまちづくり成果指標	指標の説明	H27目標値	H25実績値	達成(進捗)度
(1) 農商工連携 新たに商品化された特産品数	農商工連携の取組の成果を、新たに商品化され1年以上継続販売されている特産品数で見る指標	3 商品 H23~27の累積	4 商品	133.3 %
(2) 農業振興 農業総販売額	農業振興の成果を農産物の総販売額から見る指標	65 億円	(H24) 56 億円	86.2 %
(3) 商工業振興 工業出荷額	工業振興の成果を工業出荷額の総額で見る指標	192.0 億円	(H24) 157.1 億円	81.8 %
(4) 観光・交流 観光入込客数	観光振興・交流推進の成果を観光入込客数で見る指標	40 万人	31 万人	77.5 %
(5) 公共交通 市内公共交通の満足度	日常生活で公共交通がどの程度充足しているかを見る指標	80.0 %	61.3 %	76.6 %
(6) 情報化推進 光回線普及率	情報化を進めるための環境がどの程度整っているかを見る指標	60.0 %	87.0 %	145.0 %
(7) 子育て支援 子育てしやすいまちだと思う市民の割合	美唄市がどの程度子育てしやすい環境にあるかを市民の視点から見る指標	60.0 %	28.1 %	46.8 %
(8) 学校教育 家庭学習を毎日1時間以上行っている児童・生徒の割合	学力向上のため、児童・生徒が家庭学習の習慣を身につけているかを見る指標	 H20より高める 小学生 41.3% 中学生 42.0%	小学生 46.9 % 中学生 50.9 %	小学生 +5.6ポイント 中学生 +8.9ポイント
(9) 芸術・文化・生涯学習 生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	生涯学習・スポーツに関する施設や情報の提供により、市民が生涯学習活動の機会を得られているかを見る指標	38.0 %	43.6 %	114.7 %
(10) 男女共同参画 固定的な性別役割分担意識を持たない市民の割合	男女共同参画の考え方の浸透度を見る指標	60.0 %	54.6 %	91.0 %
(11) 平和施策 平和記念行事数	平和について考える契機となる行事の数から、平和施策の継続した取組状況を見る指標	4 件	4 件	100.0 %
(12) 自然保護 市内の自然環境の満足度	自然環境の保全と活用の取組の成果を市民の満足度から見る指標	 H20より高める 81.0%	85.3 %	+4.3ポイント
(13) 環境行動 地球にやさしい生活をしている市民の割合	環境への負荷を減らす取組の成果を具体的な行動を行っている市民の割合から見る指標	 H20より高める 65.2%	79.1 %	+13.9ポイント
(14) ごみ処理 ごみの適正分別率	ごみの適正な排出に関する意識の向上と実践度を見る指標	86.0 %	78.5 %	91.3 %

施策とまちづくり成果指標	指標の説明	H27目標値	H25実績値	達成(進捗)度
(15) 都市基盤整備 都市機能の満足度	都市基盤整備の成果をJR美唄駅を中心とした都市機能に対する市民の満足度から見る指標	 H20より高める 66.3%	68.3%	+2.0ポイント
(16) 景観・緑づくり コミュニティガーデン数	地域が主体となった景観づくりの実践状況を町内会等で管理する花壇の数から見る指標	10箇所	6箇所	60.0%
(17) 保健 自分が健康だと思う市民の割合	健康づくりの取組により自分が健康だと思う市民がどの程度いるのかを見る指標	80.0%	64.8%	81.0%
(18) 地域医療 人口10万人当たり医師数	市内の医師数を他市町村と比較するため、人口10万人当たり換算した指標	推移を見る指標なので目標値は設定しません	(H24) 169.8人	
(19) 障がい者福祉 地域で生活できている障がい者の割合	障がい者の自立に向けた取組の成果を地域で生活できている障がい者の割合で見る指標	96.5%	96.2%	99.7%
(20) 高齢者福祉 自立高齢者数	保健や介護予防の取組により要介護者がどの程度抑えられているかを見る指標	85.0%	81.3%	95.6%
(21) 防災・防犯・交通安全 自主防災組織率	自主的な防災活動の取組がどの程度広がっているかを見る指標	25.0%	14.0%	56.0%
(22) 消防 年間出火率	火災予防の取組によりどの程度火災の発生が抑えられているかを見る指標	6.4%	3.3%	△3.1ポイント 負数は目標値達成
(23) 消費者保護 消費者相談窓口を知っている市民の割合	消費者被害を未然に防止するために、市内の相談窓口(美唄消費者協会)をどの程度市民が知っているかを見る指標	60.0%	48.2%	80.3%
(24) 雇用対策 職業紹介者の就職率	求人情報提供や職業紹介の成果を見る指標	33.3%	34.2%	102.7%
(25) コミュニティ 地域活動に参加している市民の割合	コミュニティ活性化の取組がどの程度地域活動につながっているかを見る指標	 H20より高める 56.8%	65.2%	+8.4ポイント
(26) 協働のまちづくり まちづくり参画度	協働のまちづくりの成果として、市民がまちづくりにどの程度参画しているかを見る指標	20.0%	24.8%	124.0%